FUNAI

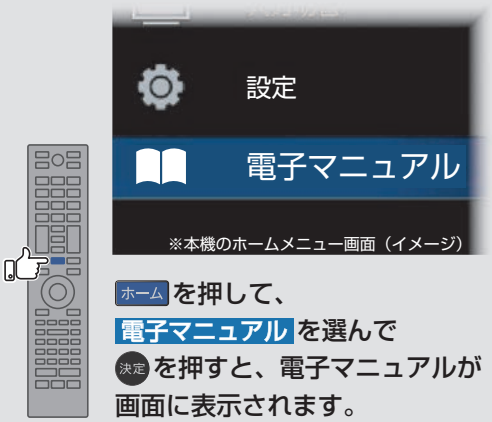
地上･BS･110 度 CS デジタル

ハイビジョン有機 EL テレビ

取扱説明書

はじめに	2
接続とかんたん一括設定	22
視聴する	38
録画する	43
再生する	60
消去する	64
外部機器を使う	65
各種設定	73
さまざまな情報	82

よりくわしい説明については・・・



ホーム を押して、
電子マニュアル を選んで
決定 を押すと、電子マニュアルが
画面に表示されます。

※ 青 を押すと、電子マニュアルが閉じます。

型番 FE-65U7010
FE-55U7010

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　G-GUIDE

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください 4
ご使用上のお願い 9
ご使用の前に 12
- 取扱説明書の種類について 12
- 本書について 13
- 本書で使用するマークの意味 13
- リモコンについて 14
- miniB-CAS カードについて 15

各部のなまえとはたらき 16
- 本機前面／側面／背面 16
- リモコン 18
- ホームメニューについて 20

接続とかんたん一括設定

準備の流れ 22
- 準備 1 ▶ 付属品の確認 23
- 準備 2 ▶ リモコンの準備 23
- 準備 3 ▶ スタンドを取り付ける 23
- 準備 4 ▶ miniB-CAS カードを入れる .. 23
- 準備 5 ▶ アンテナをつなぐ 24
- 準備 6 ▶ 電源を入れる 30
- 準備 7 ▶「かんたん一括設定」をする 31

視聴する

デジタル放送でできること 38
- デジタル放送を見る 38
- データ放送を見る 38
- 音声を切り換える 38
- 字幕を出す 39
- 画面表示を確認する 39
- 外部機器の映像を見る（入力切換） 40
- サブメニューを使う 41

「ネットアプリ」で動画を楽しむ 42
- 利用するサービスを選んで専用画面を表示する 42

録画する

録画の前に 43
- 録画するメディアについて 43
- 録画モードについて 43

放送中の番組を録画する 44
番組表（G ガイド）でできること 45
- 番組表について 45

番組表から一発予約で予約する 47
番組を検索して予約する 48
番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する） 49
自動で録画する（おまかせ録画） 51
- おまかせ録画について 51
- 新番組おまかせ録画を設定する 51
- 登録したおまかせ録画を変更する 52
- 番組表からおまかせ録画を登録する 52

録画予約を確認・変更・消去する 54
- 設定済みの録画予約を確認する 54
- 設定済みの録画予約の内容を変更する 54
- 不要な録画予約を取り消す 56

LAN 録画で録画する 57
録画についての補足説明 58

再生する

録画した番組を再生する 60
- 録画一覧（録画した番組の一覧）について .. 61

再生するときの操作 62
- 速度を変えて再生する 62
- スキップ・頭出し（見たい番組や場面までとばす） 63

消去する

番組を消去する 64
- 録画一覧から不要な番組を消去する 64

外部機器を使う

HDMI-CEC 対応機器を操作する 65
- HDMI-CEC 対応機器の操作のしかた 65

USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続･設定する 66
- USB-HDD ってどんな機器？ 66
- SeeQVault-HDD ってどんな機器？ 66
- USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ前に 66
- USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ 68

ネットワークを接続する 70
- LAN ケーブルを使って接続する 70
- 無線 LAN を使って接続する 71

各種設定

機能設定をする 73
- 機能設定の表示のしかた 73

接続機器設定をする 75
- HDMI-CEC を設定する 75
- HDMI 信号フォーマットを設定する 75

かんたん一括設定で再設定する 76
- かんたん一括設定を表示する 76

自己診断機能について 77
- 自己診断機能を使う 77
- 自己診断機能の項目と診断内容 77

ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう 80

設定を初期化する 81
- 本機の情報を確認する 81

さまざまな情報

文字入力のしかた 82

メディアを管理する 83
- HDD／USB-HDD の記録内容を全部消去する 83

仕様 84

保証とアフターサービス 86

症状診断シート 87

困ったときは 88
- おかしいな？と思ったときの調べかた 88

テレビ画面に表示されるメッセージ 91

無線 LAN を使う際のお願い 94

著作権などについて 96

デジタル放送について 98

壁掛けユニット取り付け時について 99

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
  表示と意味は次のようになっています。
  内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの	⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 絵表示の例

● 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- 絵表示の意味

	必ず指示に従い、おこなってください。		絶対に濡れた手で触れないでください。
	絶対に分解／修理はしないでください。		破裂に注意してください。
	絶対に濡らさないでください。		絶対におこなわないでください。
	高温に注意してください。		絶対に水場では使用しないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		注意してください。
	絶対に触れないでください。		

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示
使用上のご注意
- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　大阪府大東市中垣内７丁目７番１号　船井電機株式会社

■ 眼精疲労について

- 長時間有機 EL テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ 本有機 EL テレビの廃棄

- 有機 EL テレビは、2018 年 4 月現在、小型家電リサイクル法の対象となっており、家電リサイクル法に基づく廃棄はできません。
  今後、法制度が改訂される場合を除き、市区町村、地方自治体の条例や規則に従い廃棄してください。
- 本機を廃棄されるときは**[すべての初期化]**をおこなうことをおすすめします。
  くわしくは「設定を初期化する」をご覧ください。P.81

■ ご注意

- **本機の近くで携帯電話および PHS などを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。**
  携帯電話および PHS などを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- ビデオの近くに本機を置いた場合は、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。
  万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

⚠警告

■ ご使用になるとき

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。

水漏れ禁止

本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

- こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。

水濡れ禁止

水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。

禁止

本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない

- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

放置禁止

miniB-CAS カードは乳幼児の手の届くところに放置しない

- miniB-CAS カードを台紙から取り出したら、ただちに miniB-CAS カード挿入口に挿し込んでください。
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電池の取り扱い

禁止

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

注意

電池は乳幼児の手の届くところに放置しない

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。
通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

交流100V

本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

- 指定（表示）以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない

- 落雷すると感電することがあります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない

- 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

禁止

電源コードを正しく使用する

- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

- 破損させない
- 加熱しない
- 引っぱらない
- 加工しない
- 切断しない
- ねじらない
- 曲げない
- 重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

- 発火の原因になります。

禁止

電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

禁止

本機の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない

- 火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ（こたつの中やサウナなど）で使用しない

- 感電・火災の原因となります。

注意

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

- 感電の原因となります。

注意

電源コードを動かすと電源が入ったり、切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

使用禁止

プラグを抜く

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したとき（電源プラグを抜く）

使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき（煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする）は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

使用禁止

プラグを抜く

本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など）は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

■設置・移動するとき

注意

本機の開梱、スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する（3人以上を推奨）

- 本機にスタンドを取り付けないと、製品が転倒し、けがの原因になったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

注意

スタンド外装箱が本体と同じ型番のものか、必ず確認する

- 本製品は本体とスタンドが別梱包となっています。誤ったスタンドを取り付けた場合は、製品が転倒し、けがの原因になったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

注意

スタンドを外装箱から取り出す際は、底部の緩衝材と一緒に取り出す

- 本製品はパネル底部とテレビ台などの天面にほとんど隙間がない構造で設計されており、スタンド取り付け時には作業用の隙間が必要となります。そのため、本体をスタンド支柱に挿し込むときと、スタンド取り付け後に本機をテレビ台などに設置するときの「持ちかた」も異なります。（「はじめるガイド」を参照）
スタンド取り付け完了後に本機をテレビ台などに設置するときまでは、必ずスタンド底部の緩衝材上にスタンドを乗せた状態で作業をおこなってください。

注意

本体は水平の状態で運ばない

- 有機ELパネルは非常に薄い構造で設計されており、かんたんに曲がる性質があるため、移動時などで水平にして持ち運びすると、パネルの破損や故障の原因となります。

注意

パネルを強く握らない

- 有機ELパネルは非常に薄いガラス基板を使用しており、パネルに無理な力が加わると割れる恐れがあります。お手入れの際も、パネルの縁に軽く手を添える要領でおこなってください。

塩害注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。

使用禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

禁止

本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm 以上、背面 20 cm以上、左右 10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

禁止

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

アンテナ工事は専門業者にお願いする

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

正しく設置する

安定した場所に設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく

- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす

- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。
- 必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

電源コードを引き回さない

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

禁止

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

- 発煙・発火の原因となります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

■ ご使用になるときのご注意

掃除

年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

禁止

有機ELパネルの破損

- 有機ELパネルはガラスでできています。有機ELパネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

■ 電池の取り扱いについてのご注意

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

- プラス（+）とマイナス（−）の向きを正しく入れる。
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用禁止

指定されていない電池を使用しない

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

使用禁止

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

- 破裂する危険があります。

ご使用上のお願い

置き場所や取り扱い

- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源コードを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話や PHS を使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(外付けハードディスクなど)を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(VHF:90～222MHz、UHF:470～770MHz、BS:1032MHz～1336MHz、CS:1595MHz～2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源を切っておいてください。

  ※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源を入れて作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
  (This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。

アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

有機 EL パネルについて

- 有機 EL パネルは、その高精細な画像を得るために採用している材料の特性上、焼き付きが発生することがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、繰り返し表示したりすると、焼き付き画像を元に戻せなくなる場合があります。
- 主に下記の画像は焼き付きしやすいので、長時間継続しての表示を避けるようにしてください。
  - 画像横縦比 4:3 の画像
  - DVD やブルーレイディスクなどのタ イトル画像
  - ゲーム映像
  - 写真や長時間静止した画像
  - 上下に帯が表示される画像
    (レター ボックス映像)
  - レコーダーや CATV(ケーブルテレビ)チューナーなど接続機器のメニュー、番組表、チャンネル表示、文字放送やデータ放送などの静止した表示や繰り返し表示される画像
- 本機は画面の焼き付きを低減するために以下の機能があります。
  - 一定時間ごとに自動的に画像の表示位置を移動するスクリーンシフト機能を設定することができます。
  - 一定時間無操作時に自動的にスクリーンセーバー機能が起動します。
    (「FUNAI」のロゴが画面上、ランダムな位置に表示されます。)

    ※Netflix、YouTube、dTV、U-NEXT など、各種動画配信サービスのボタンを操作した場合は、すぐに各サービスを起動します。

    ※スクリーンセーバー機能が起動した状態で約１０分経つと、消費電力を低減するために、自動的に画面表示が消えます。(画面表示が消えた後も電源 LED は点灯状態を維持し、何らかの操作をすると元の画面に戻ります。)
  - 本機がパネルメンテナンスの実行が必要だと判断した場合は、お客様に対して、パネルメンテナンスの実行を促すメッセージを表示します。
    パネルメンテナンスにはメンテナンスに要する時間によって 2 種類(約 10 分／約 70 分)あり、本機は視聴状況に合わせて、最適なメンテナンスの実行を促すメッセージを表示します。
  - パネルメンテナンス機能を有効にするためには、常にリモコンまたは本機側面の電源ボタンで電源を切ることを推奨します。
  - パネルメンテナンスは手動で実行することもできますが、有機 EL パネルに負担がかかりますので、頻繁に実行することは避けてください。

    EM 「各種設定」➡「その他の設定をする」➡「パネルメンテナンスを実行する」
  - パネルメンテナンス中はパネルを強く押したり、こすったりしないでください。

修理について

■ **本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送がおこなわれている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

有機 EL パネル

有機 EL 画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合は、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。
また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると有機 EL パネルの表面が剥がれたり、傷ついたりすることがあります。

- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、
塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合は、すぐに拭きとってください。そのままにすると有機 EL パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外(静電気防止など)でも画面に溶剤などを使用されますと、画面の光沢ムラなどになることがあります。
ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したり、こすったり、叩いたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。
画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。

ベンジンやシンナーなどでふくと変質する原因になります。

〈化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください〉

- 柔らかい布で軽くふきとってください。
特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネふきなどの柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞りふいてください。
- 水滴などが有機 EL パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついていたり、コンセントの挿し込みが不完全になっていたりする場合は、火災の原因になります。

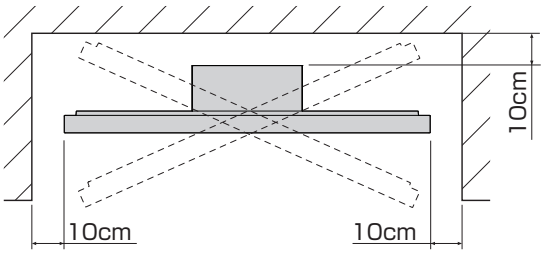
内部

掃除は、販売店に依頼してください。

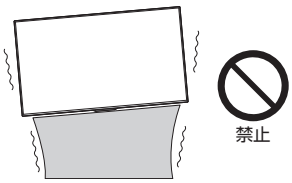
- 1 年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前におこなうのが効果的です。

本機の設置についてのお願い

- スタンドを取り付ける際には、最低限、下図のスペースを設けてください。



- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



ご注意

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

転倒防止についてのお願い

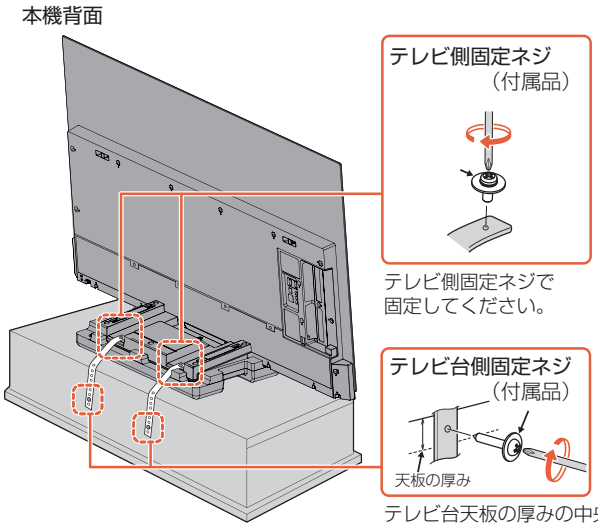
ご注意

- 衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

テレビ台や家具などへの固定

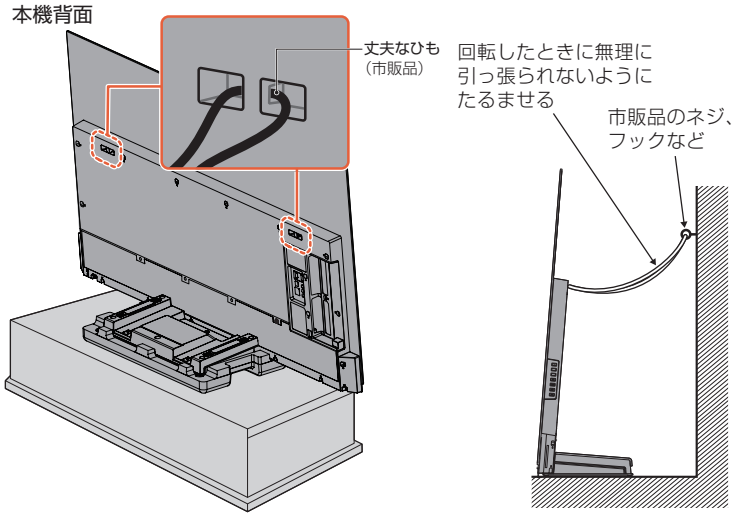
お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをテレビ側固定ネジで本機に取り付けた後、テレビ台側固定ネジでお使いのテレビ台や家具に固定してください。

また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止バンドで固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。



壁や柱などの安定した場所への固定

図のように、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。



ご注意

- 再び移動させるときはネジやひもをはずしてからおこなってください。
- ネジ、ひもなどの取り付けは確実におこなってください。

ご使用の前に

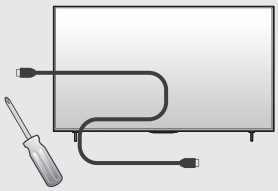
取扱説明書の種類について

本機の説明は、内容によって**取扱説明書**（本書）と**電子マニュアル**（本機に搭載）に分けて記載しています。
必要な情報にあわせて、**取扱説明書**または**電子マニュアル**をご覧ください。

取扱説明書（本書）に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 本機の設置、接続について
- かんたん一括設定について
- 基本的な操作の説明

その他、本製品をお使いになる前にご覧いただきたい情報などを記載しています。



電子マニュアルに記載している主な内容

- 機能の説明
- 詳細な設定について
- くわしい操作の説明
- 困ったときは

その他、本機の機能を存分にお使いいただくために、取扱説明書（本書）には記載されていないくわしい情報を、本機の画面上でご確認いただけます。

さらにくわしい情報は、パソコンやスマートフォンから当社のホームページをご覧ください。
funai.jp/cs/

- ホームページでは、本機をお使いいただくための以下の情報などを掲載しています。
  - ソフトウェア更新のお知らせ
  - よくあるご質問
  - 困ったときは
  - 接続確認済み機器
  - 最新の取扱説明書（本書）、電子マニュアルのオンライン版

サポート動画のご案内

製品情報のページで、サポート動画をご覧いただけます。
サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。

サポート動画

funai.jp/cs/product/

本書について

■ 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
■ 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞき FE-65U7010 です。
■ 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
● 本書や本機の操作画面などでは、録画メディアを以下の通り表現しています。
- 内蔵 HDD（ハードディスク） → HDD
- 外付け HDD（ハードディスク） → USB-HDD
- SeeQVault 対応外付け HDD（ハードディスク） → SeeQVault-HDD

■ 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
■ 本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
■ 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
■ 本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。
用語については、「用語の説明」をご覧ください。
EM 「さまざまな情報」 ➡ 「用語の説明」
■ 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージや⃠が表示される場合があります。
本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
■ 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
ご注意	取り扱い上のご注意を記載しています。
お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
P.1	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
EM	関連する内容が本機に搭載された電子マニュアルに記載しています。 電子マニュアルを参照してください。
「はじめるガイド」をご覧ください	関連する内容が同梱されている「はじめるガイド」に記載しています。 「はじめるガイド」を参照してください。
ホーム からでも操作OK!!	ホーム を押しても基本の手順と同じ操作や設定などがおこなえます。
➡	リモコンの 決定 や ▶ などを押して、項目の決定や選択をすること、 または次の動作に移行する場合に記載しています。

メディアや方式を表すマーク

HDD	内蔵 HDD（ハードディスク）
USB-HDD	外付け HDD（ハードディスク）
SeeQVault -HDD	SeeQVault 対応外付け HDD（ハードディスク）

リモコンについて

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池（アルカリ乾電池とマンガン乾電池など）を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単 4 形乾電池（1.5 V 2 本）をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
- Wake-on-LAN に対応した機器から本機を操作する場合や、FUNAI Connect アプリで本機のリモコン操作をする場合は、操作結果が確認できるように本機が見える位置から操作してください。

▷ リモコンが効かなくなったら･･･

- リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。）

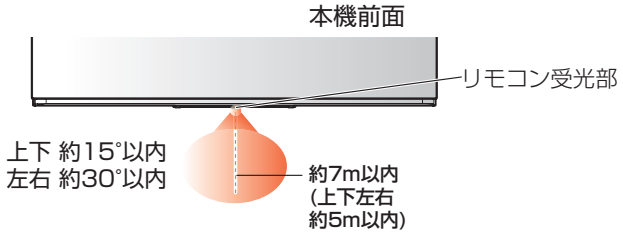
▷ リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離･･･本機正面から 7m 以内

角度･･･本機正面から 上下約 15°以内（5m 以内）　左右約 30°以内（5m 以内）

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。



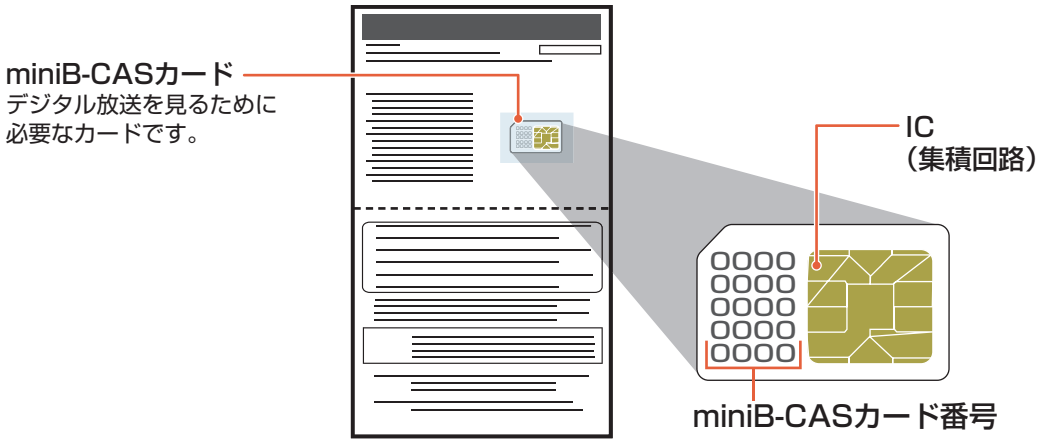
▷ リモコンの取り扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体でふかないでください。

miniB-CASカードについて

番組の著作権保護のため、miniB-CAS カードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のために miniB-CAS カードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。

付属の miniB-CAS カードの ID 番号は本書の「ご購入メモ」の「miniB-CAS カード番号」にも記入しておいてください。P.87



ご注意

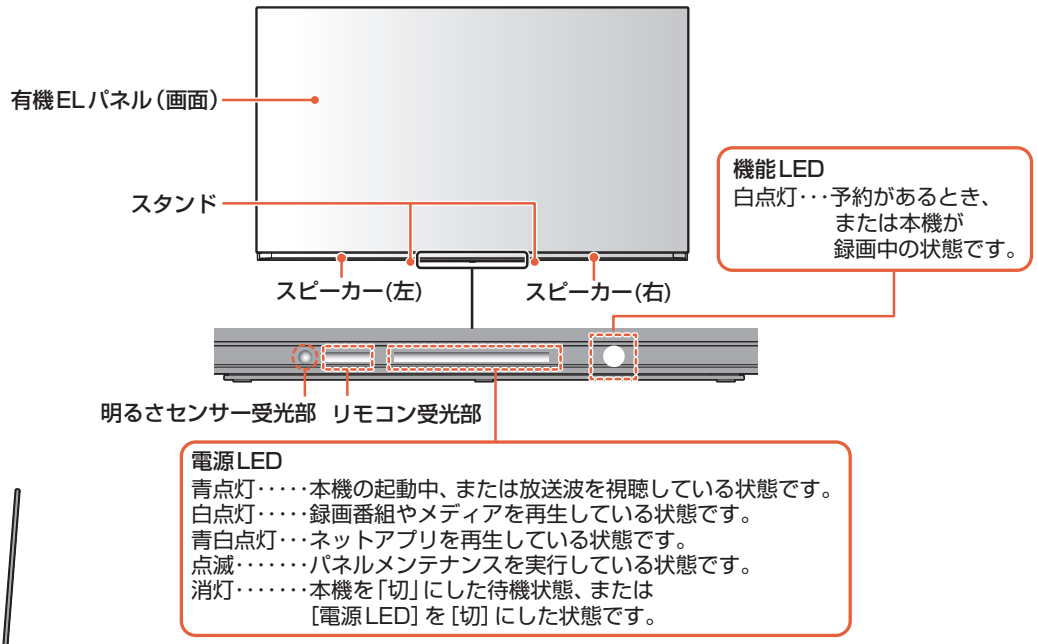
- カードを本機に挿入する前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」にカード番号を記入してください。P.87
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。または、分解や加工をしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 本機を使用中は miniB-CAS カードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- miniB-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと miniB-CAS カードは機能しません。
  また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CAS カードの抜き挿しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- miniB-CAS カード挿入口に、miniB-CAS カード以外のものを入れないでください。
  - お客様の責任で miniB-CAS カードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されます。

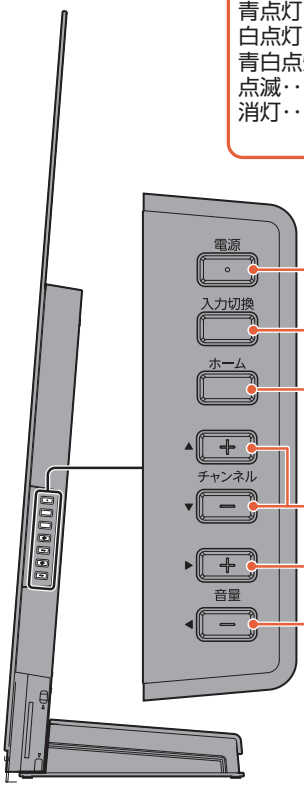
お知らせ

- 付属の miniB-CAS カードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CAS カードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CAS カードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。
  破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。
- miniB-CAS カードについてのお問い合わせ先（2018 年 4 月現在）
  （株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL 0570-000-250（ IP 電話からの場合は 045-680-2868）
  受付時間 10:00～20:00（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

各部のなまえとはたらき

本機前面／側面／背面





電源

入力切換
BDレコーダーなどを見るときに押します。
〈例：地上デジタル放送視聴時〉押すごとに、
地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル →
HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → HDMI4 → ビデオ → 地上デジタル･･･
の順に切り換わります。
メニュー画面表示中はリモコンの 決定 と同じはたらきをします。

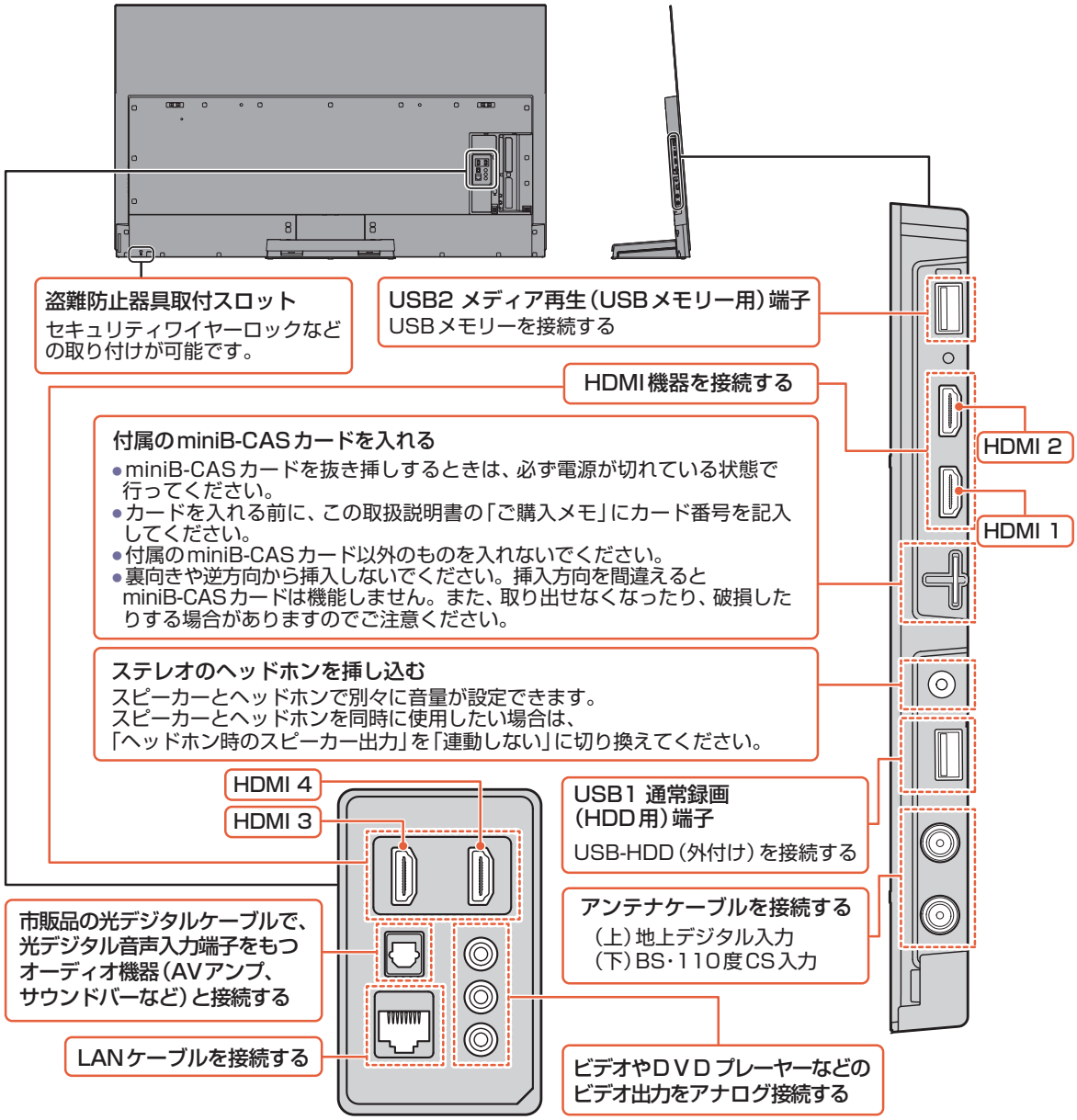
ホーム
ホームメニューを表示します。

チャンネル＋／－
チャンネルを切り換えます。視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
メニュー画面表示中はリモコンの▲または▼と同じはたらきをします。

音量＋／－
音量を調節します。
メニュー画面表示中はリモコンの◀または▶と同じはたらきをします。

お知らせ

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新がおこなわれる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲーム機では、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲーム機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。



ご注意

- 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
- **映像**・・・黄、**音声－左**・・・白、**音声－右**・・・赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本機側面の USB 2メディア再生（USB メモリー用）端子には、写真や動画、音楽などの再生用 USB 機器以外のものを接続しないでください。
- HDMI 3・4端子、光デジタル音声出力端子、LAN 端子、ビデオ入力端子にケーブルを接続するときは、背面端子カバーを取り付けることができません。取りはずした背面端子カバーは失くさないよう大切に保管してください。

リモコン

ふだんよく使うボタン

❶ 電源を入れる

- 本機の電源 LED が青色に点灯します。（通電状態のときに使えます。）

❷ 視聴したいデジタル放送の種類を選ぶ

地上 ……地上デジタル放送

BS ……BS デジタル放送

CS ……110 度 CS デジタル放送

❸ チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンを押すと、チャンネルを直接選べます。
- チャンネルボタンを押すと、視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
- ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
- 視聴しないチャンネルをスキップすることができます。
- 本機側面のチャンネルボタンでも選べます。

❹ 音量を調節する

- 本機側面の音量ボタンで調節することもできます。

❺ 音を一時的に消す

- もう一度押すと元の音量に戻ります。

❻ 入力を切り換える

例：地上デジタル放送視聴時

地上デジタル→BS デジタル→CS デジタル→HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→ビデオ→地上デジタル･･･の順に切り換わります。

- 本機側面の入力切換ボタンで切り換えることもできます。

❼ 番組表を表示する P.45

❽ データ放送に切り換える P.38

❾ 3 桁のチャンネル番号を入力する

- 3桁入力 を押すと、BS デジタル放送や CS デジタル放送を視聴するときに、数字ボタンを押してチャンネルを選べます。

例：103 チャンネルを選ぶとき

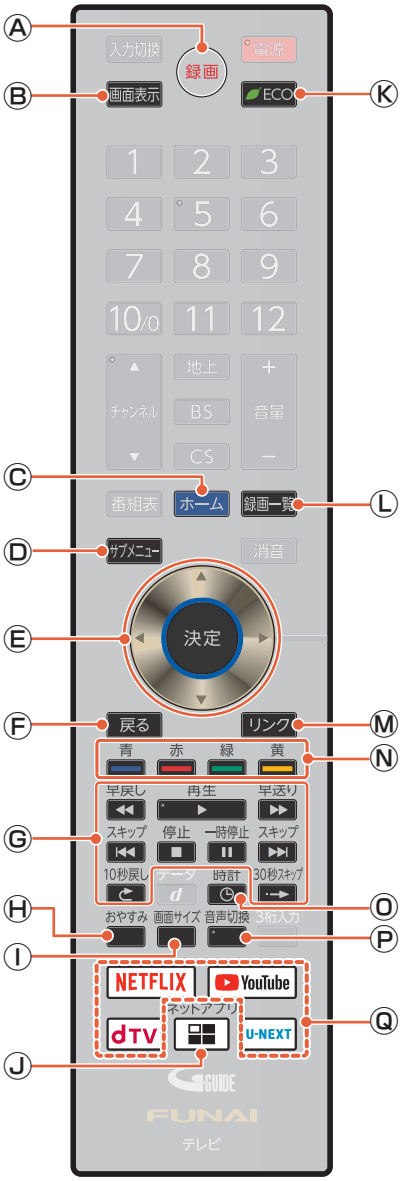
1 ➡ 10/0 ➡ 3

「0」を入力するときは 10/0 を押します。

ご注意

- 本機は外部入力からの４ K 映像はお楽しみいただけますが、2018年12月1日スタートのBS･110 度CS による4K･8K 放送は受信できません。別売の対応チューナーが必要です。P.38
- リモコンが正しく操作できないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」をご覧ください。P.88
- 乾電池の入れかたについてくわしくは「リモコンの準備」をご覧ください。P.23
- 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製テレビの操作はできません。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。また、ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。

さらに便利に使いこなすボタン



Ⓐ 番組を録画する P.44

Ⓑ 画面表示を切り換える
- チャンネル番号、放送時間、番組名、音声の種類、録画情報、現在時刻などを画面に表示します。P.39

Ⓒ ホームメニューを表示する P.20

Ⓓ サブメニューを表示する P.41

Ⓔ メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする

Ⓕ メニューなどの画面を表示中に 1 つ前の画面に戻る

Ⓖ 録画した番組を見るときに使用する P.62

Ⓗ 押すごとに 30 分 ➡ 60 分 ➡ 90 分 ➡ 120 分後に本機の電源が切れるように設定する

Ⓘ 画面サイズを表示する
- 映像に合わせた画面サイズを選べます。選べる画面サイズは、見ている番組や映像の種類によって異なります。

Ⓙ ネットアプリを表示する P.42

Ⓚ ECO モードに切り換える
- 本機の消費電力を抑える ECO モードに切り換えます。

Ⓛ 録画一覧を表示する P.60

Ⓜ HDMI-CEC 対応機器を本機のリモコンで操作する P.65

Ⓝ 番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用する
- 画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

Ⓞ 現在時刻を表示する
- 現在時刻の表示／非表示を切り換えることができます。
- 時計表示は約 1 分で表示が消えます。

Ⓟ 音声を切り換える P.38

Ⓠ 各動画配信サービスに直接アクセスする P.42

お知らせ

- 電源 以外でも、上の図の [ ] で囲われているボタンを押して本機の電源を入れることができます。

ホームメニューについて

いろいろな機能を呼び出せます。
操作ができない項目はグレーで表示され、選択できません。

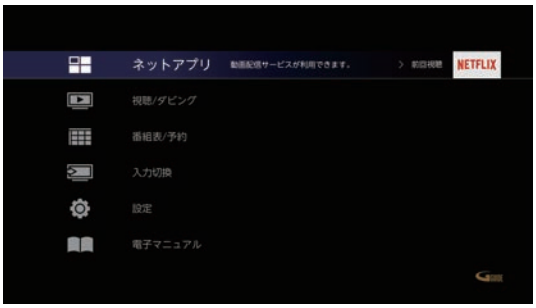
基本的な使いかた

1 ホームを押して、ホームメニューを表示する

- ホームメニュー表示中に押すと、ホームメニューを終了します。

2 項目を選んで決定を押す

ホームメニュー画面



▷ 以下の項目で▶を押すと

各項目の便利機能が選択されます。決定を押してそれぞれの操作をより便利にお使いください。

ネットアプリ	前回視聴した動画配信サービスに直接アクセスできます。
視聴／ダビング	録画済み番組の中で、最も新しい番組を見ることができます。
番組表／予約	注目番組一覧から無作為に選ばれた番組を見ることができます。
入力切換	前回使用した入力に切り換えることができます。

お知らせ

- 上記の便利機能は関連機能を使用、または設定した後にご利用いただけます。

各項目で操作できる内容

以下、すべての機能をご利用いただくためには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

ネットアプリ	動画配信サービスを一覧表示します。
ネットアプリ	P.42

視聴／ダビング	おすすめ再生や録画した番組、写真／動画／音楽ファイルなどの一覧を表示します。 また、録画した番組のコピー／移動ができます。
おすすめ再生	EM「再生する」➡「おすすめ再生をする」
録画一覧	P.61
メディア再生	EM「外部機器を使う」➡「ホームネットワーク上の機器や USB メモリーのファイルを表示する」➡「ファイルを表示する」
ダビング	EM「ダビングする」➡「複数の番組をまとめてダビングする」

番組表／予約	デジタル放送の番組表を表示したり、録画予約やおまかせ録画を確認したりできます。
番組表	P.45
おまかせ録画	P.51
注目番組	EM「録画する」➡「注目番組一覧から予約する」
予約一覧	P.54
番組検索	P.48

入力切換	デジタル放送や外部入力機器に切り換えます。
入力切換	P.40

設定	本機の設定やお知らせを表示します。
〈 機能設定 〉	
画質設定	P.73
音声設定	EM「各種設定」➡「音声設定をする」
省エネ設定	P.74
制限設定	EM「各種設定」➡「制限設定をする」
接続機器設定	P.75
ネットワーク設定	EM「各種設定」➡「ネットワークを接続･設定する」
録画／再生設定	P.44
その他の設定	EM「各種設定」➡「その他の設定をする」
初期化	P.81
〈 放送受信設定 〉	
地上デジタル設定 BS／CS デジタル設定 共通設定	EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」
〈 かんたん一括設定 〉	
かんたん一括設定	P.76
〈 お知らせメール 〉	
放送メール CS1 ボード CS2 ボード	EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「お知らせメールについて」
〈 自己診断機能 〉	
本体	P.77
放送チャンネル	P.78
USB-HDD	P.79
USB メモリー	P.79
宅外操作環境	P.79

電子マニュアル	電子マニュアルを表示します。
電子マニュアル	P.12

準備の流れ

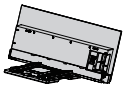
準備 1　付属品の確認

P.23

準備 2　リモコンの準備

P.23

準備 3　スタンドを取り付ける



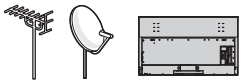
P.23

準備 4　miniB-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するために必要です。

P.23

準備 5　アンテナをつなぐ



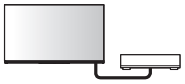
P.24

必ずおこなう

必要により

レコーダーや AV アンプなどの外部機器をつなぐ

お持ちの録画･再生機器を利用できます。



P.26

ネットワークに接続する

ネットワークに接続することで、
さまざまな機能を楽しむことができます。

P.70

USB-HDD をつなぐ

USB-HDD（市販品）をつなぐと、
録画時間をより増やすことができます。

P.66

準備 6　電源を入れる

P.30

準備 7　「かんたん一括設定」をする

テレビを見るための基本的な設定がかんたんにできます。

P.31

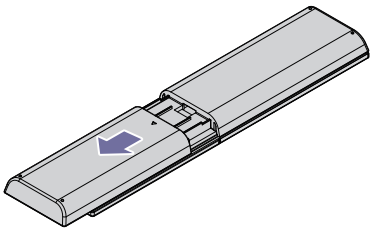
準備 1 ▶ 付属品の確認

『はじめるガイド』をご覧ください

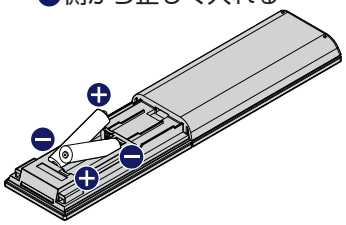
『はじめるガイド』に記載されているすべての部品が正しく付属されていることをご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

準備 2 ▶ リモコンの準備

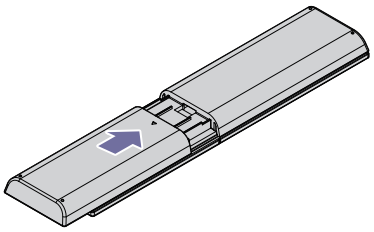
① 裏ぶたをはずす



② ⊕／⊖をよく確かめて⊖側から正しく入れる



③ 裏ぶたをつける



準備 3 ▶ スタンドを取り付ける

『はじめるガイド』をご覧ください

お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。お買い上げの機種によって、スタンドの取り付けかたは異なります。また、本機にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。
取り付け方法は、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

ご注意

- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

準備 4 ▶ miniB-CAS カードを入れる

『はじめるガイド』をご覧ください

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属の miniB-CAS カードが必要です。
くわしくは「miniB-CAS カードについて」をご覧ください。P.15
miniB-CAS カードの入れかたについては、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。
miniB-CAS カードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

⚠警告	miniB-CAS カードは幼児の手の届くところに放置しないでください。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

準備５ ▶ アンテナをつなぐ

■ 本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

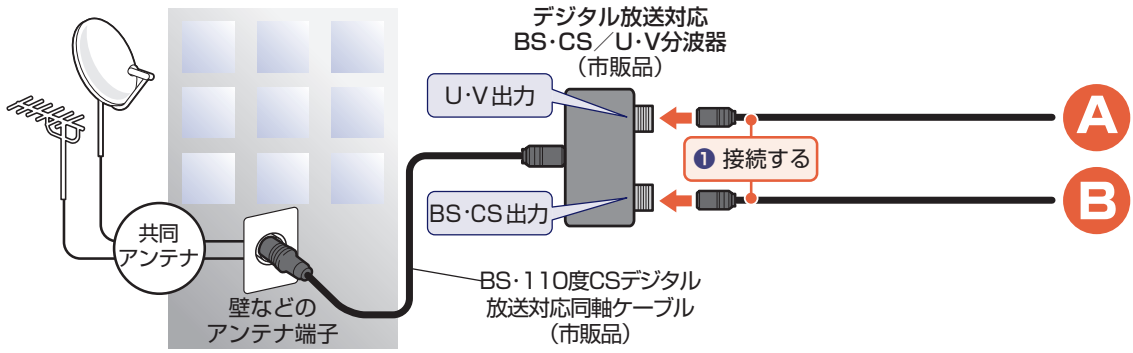
UHF アンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中の UHF アンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

地上デジタル放送と BS･110 度 CS デジタル放送のアンテナ端子が 1 つのときと、別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

▷ アンテナ端子が 1 つのときは

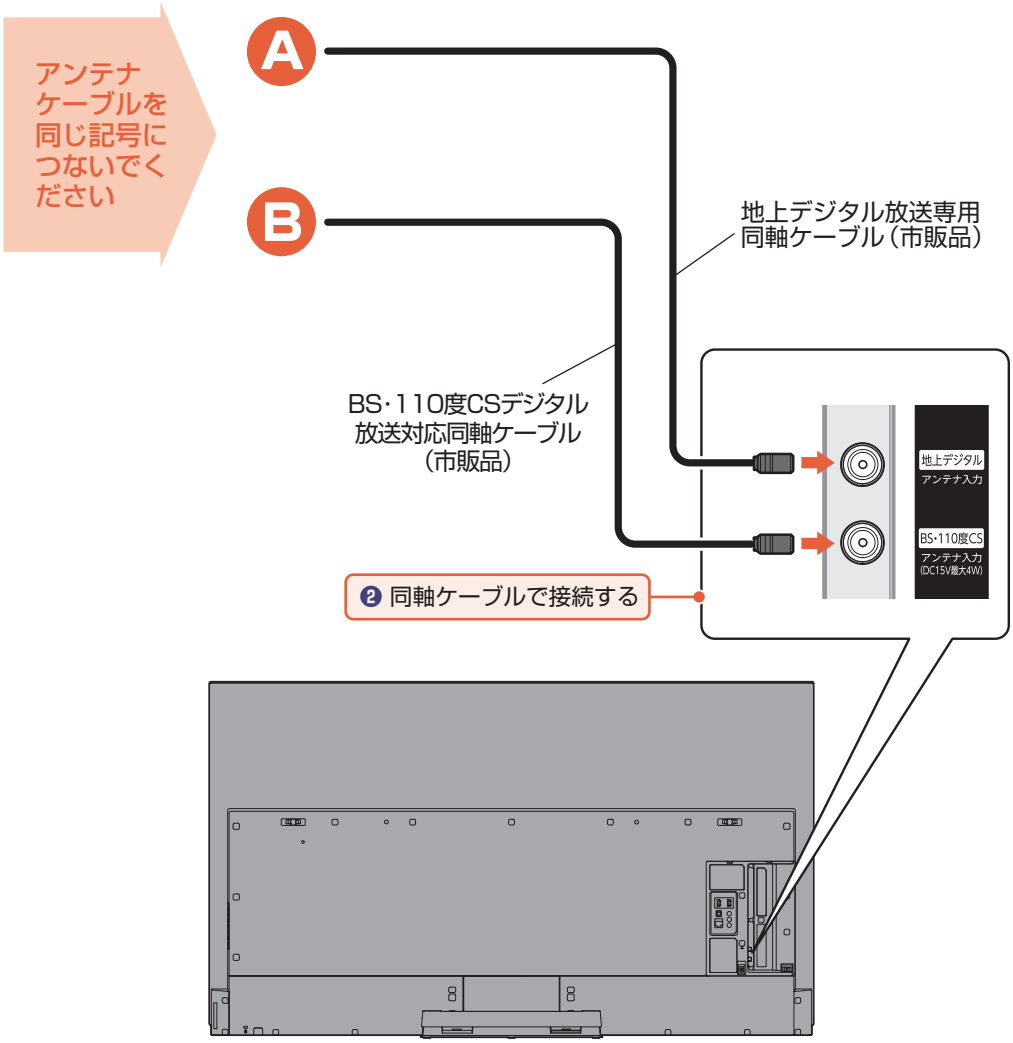
- マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送と BS･110 度 CS デジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が 1 つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号と BS･110 度 CS デジタル放送の信号を分けてください。



▷ アンテナ端子が別々のときは

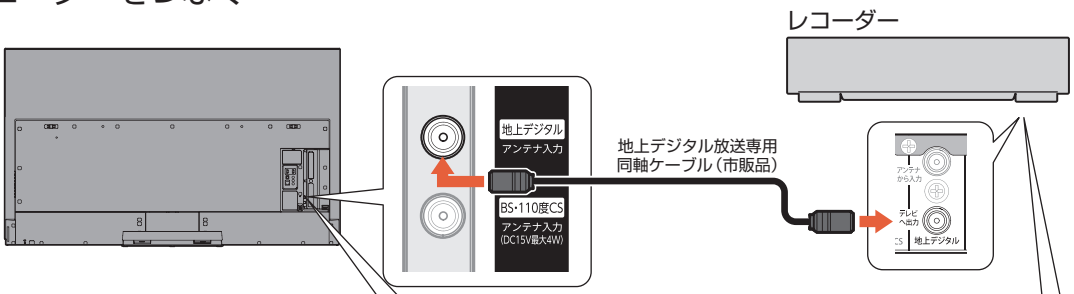
ご注意

- BS アンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定をおこなってください。
  電源設定を正しくおこなわないと、受信ができないことがあります。
  EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」

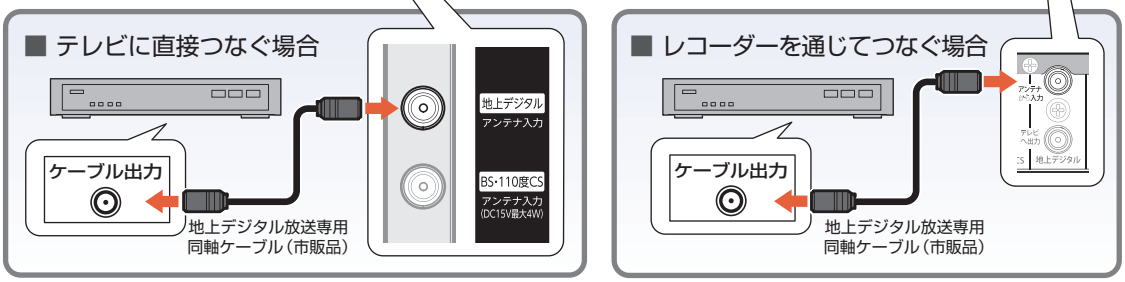


レコーダーまたは CATV(ケーブルテレビ)チューナーをアンテナでつなぐ

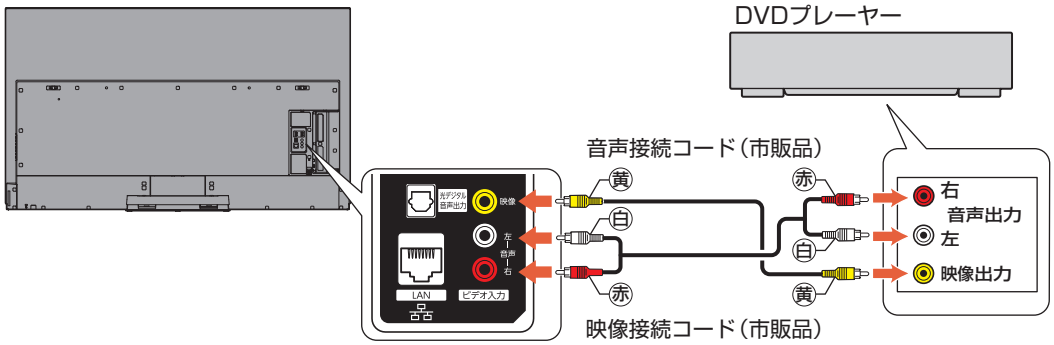
レコーダーをつなぐ



CATVチューナーをつなぐ



DVD プレーヤーとつなぐ



お知らせ

- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。この場合は、**[画面サイズ]**でお好みの画面サイズを選んでください。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「画面サイズを選ぶ」
- つないだ機器で見るときは、入力切換で**[ビデオ]**を選んでください。

ご注意

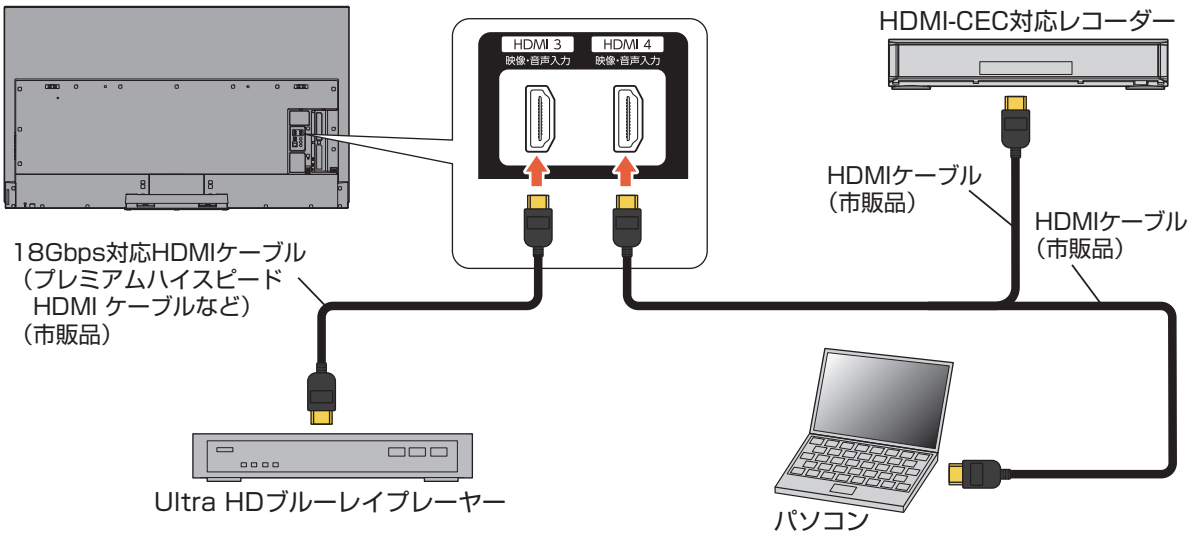
- DVD プレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVD プレーヤー側のテレビ画面サイズの設定を 16:9 にしてください。
  4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

HDMI 機器と接続する

映像･音声信号を 1 本のケーブルでつなぐことができます。

また、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）規格に準拠した機器に HDMI ケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。（当社製のレコーダー側では、**[機器制御]**を**[入]**に設定してください。）HDMI 機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC 対応機器を操作する」をご覧ください。P.65

例：HDMI-CEC 対応レコーダーやパソコンを HDMI 入力端子に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
  480i、480p、720p、
  1080i、1080p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz、
  2160p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz
- 対応している音声信号
  種類：リニア PCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス
  サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz
- HDMI 機器の映像や音声を楽しむときは、**[入力切換]**で**[HDMI 1～4]**を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI 端子付きパソコンを接続するときは、HDMI 規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- HDMI 入力が正しく映らない場合は、**[ホーム]** ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[接続機器設定]** ➡ **[HDMI 信号フォーマット]**で接続している HDMI を選んで、映像に合った設定にしてください。P.75

ご注意

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証されたハイスピード HDMI ケーブルをご使用ください。
- Ultra HD ブルーレイプレーヤーなどで４K映像や４K ＨＤＲ映像を視聴する場合は、18Gbps 対応 HDMI ケーブル（プレミアムハイスピード HDMI ケーブルなど）をご使用ください。
- HDMI 対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC 対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機の HDMI 入力端子は、すべてのパソコンへの接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ARC 対応のオーディオ機器とつなぐ

▷ ARC（オーディオリターンチャンネル）について

テレビとオーディオ機器（AV アンプ、サウンドバーなど）を HDMI ケーブル 1 本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもオーディオ機器も ARC に対応している必要があります。

例：ARC または HDMI-CEC 対応 AV アンプを HDMI1 入力端子に接続する

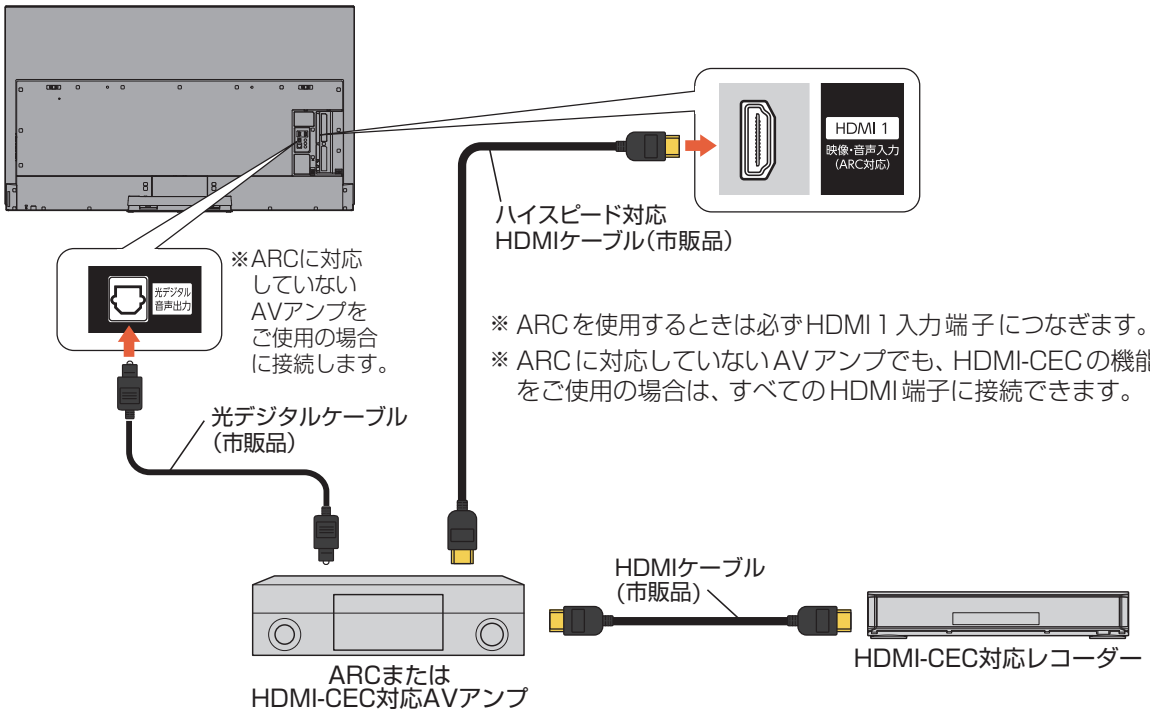
本機のリモコンで、HDMI-CEC に対応した AV アンプの音量調節ができます。

EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「HDMI-CEC 対応アンプの音量を調節する」

接続後は、下記の設定をする必要があります。

- **[HDMI 機器連動]**を**[入]**に設定する。P.75
- 光デジタル音声出力接続時は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**を設定する。
  EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「デジタル音声出力」
- **[スピーカー出力]**を**[外部音声機器]**に設定する。
  EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「スピーカー出力」

また、本機は HDMI1 入力端子のみ ARC に対応しています。



この接続図は、接続方法の一例です。

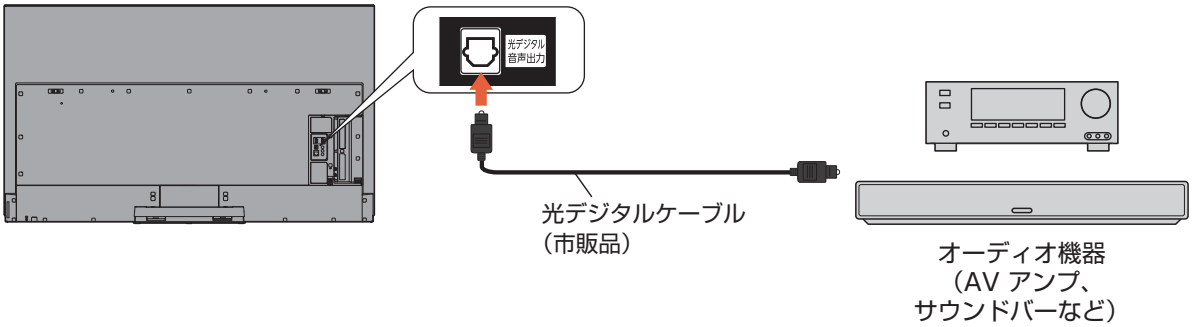
ご注意

- HDMI-CEC 対応 AV アンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器は AV アンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AV アンプに HDMI-CEC 対応機器をつなぐときは、AV アンプの電源が「切」になっていると HDMI-CEC 機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- HDMI-CEC 対応 AV アンプをつないだときは、光デジタル音声出力も AV アンプと接続してください。(ARC 対応の AV アンプで ARC を使用するときは接続不要です。)AV アンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますので AV アンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARC を使用するためには、ARC 対応の AV アンプが必要です。また、AV アンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARC を使用するときは必ず、HDMI1 入力端子につないでください。本機とつなぐ HDMI ケーブルの AV アンプ側は HDMI 出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AV アンプ側の設定が必要な場合があります。
- 製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC 対応 AV アンプが PCM しか対応していないときは、**[ホーム]** ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[音声設定]**で**[デジタル音声出力]**を**[PCM]**に設定してください。
  EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「デジタル音声出力」
- **[HDMI 機器連動]**を**[切]**に設定しているときは**[ホーム]** ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[接続機器設定]**で**[HDMI 機器連動]**を**[入]**に設定してください。P.75

光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続

光デジタル音声入力端子を持つオーディオ機器(AV アンプ、サウンドバーなど)を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**の設定が必要です。

EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「デジタル音声出力」



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたは PCM に対応したアンプや MD などで、光デジタル音声入力端子を持つ機器です。
- PCM とは、Pulse Code Modulation の略称で CD などで使われている 2ch のデジタル信号です。
- オーディオ機器(AV アンプ、サウンドバーなど)を使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にするか、**[スピーカー出力]**を**[外部音声機器]**にしてください。
  EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「スピーカー出力」

ご注意

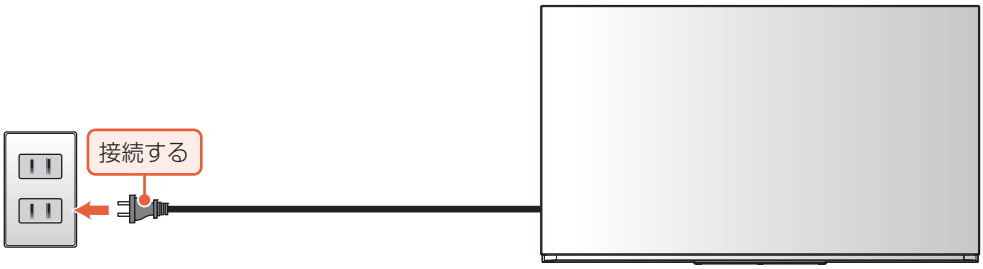
- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

準備６ ▶ 電源を入れる

電源プラグを挿し込む

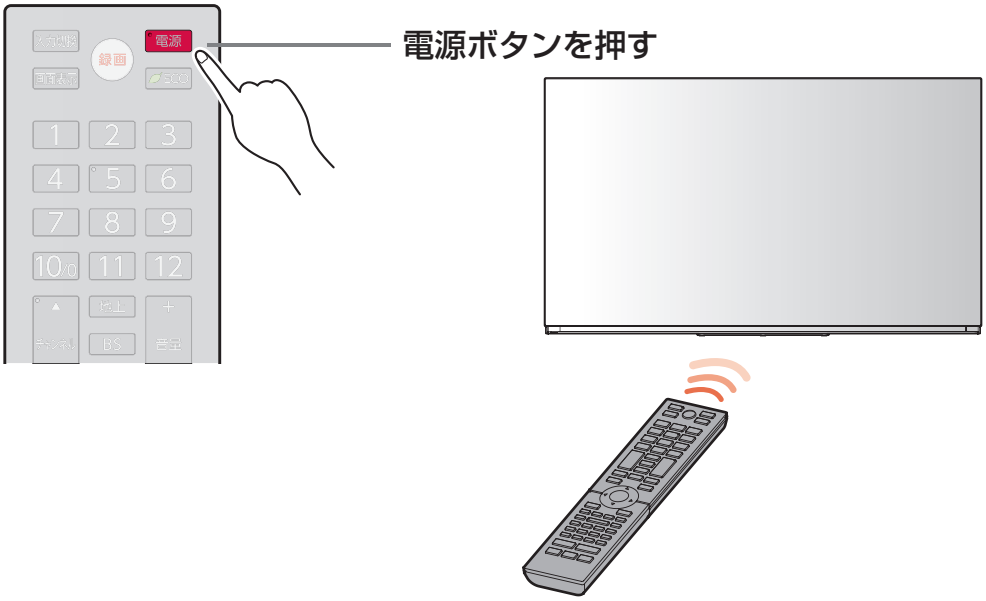
● 電源プラグを交流（AC）100V のコンセントに挿し込むと、本機が通電状態になります。

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに挿し込んでください。



本機の電源を入れる

● 「かんたん一括設定」の開始画面が表示されるので、続けて「かんたん一括設定をする」をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。P.31 ～P.37



お知らせ

● 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
● 本機のリモコン受光部の位置については「リモコンについて」をご覧ください。P.14
● リモコンの準備のしかたについては「リモコンの準備」をご覧ください。P.23

準備7 ▶「かんたん一括設定」をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に**[かんたん一括設定]**の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- **[かんたん一括設定]**は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯におこなってください。チャンネルが飛ばされるように設定され、視聴可能なチャンネルが選べなくなります。
- **[かんたん一括設定]**実行中は、電源コードを抜いたり電源を切ったりしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、**[かんたん一括設定]**をやりなおしたいときは「かんたん一括設定で再設定する」をご覧ください。P.76

1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、次へが選ばれているので決定を押す

- 確認画面が表示され、かんたん一括設定を開始するが選ばれているので、そのまま決定を押してください。
- **[かんたん一括設定]**の開始画面が表示されない場合は、「かんたん一括設定で再設定する」の手順をおこなってください。P.76

▷ **アンテナ線の接続のしかたについては**
「アンテナをつなぐ」をご覧ください。P.24

▷ **miniB-CAS カードの入れかたについては**
「miniB-CAS カードを入れる」をご覧ください。P.23

■地域設定

2 1～10/0で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、次へが選ばれている状態で決定を押す

▷ **入力を間違えたときは**
番号消去を選んで決定を押して一括消去するか、▲・▼・◀・▶で戻って入力しなおしてください。

3 お住まいの県域を選んで決定を押す

- 自動で検出された**[県域設定]**がお住まいの県域になっていない場合は、いいえを選んで、県域選択画面より選びます。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、東京都(島部)を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、鹿児島県(島部)を選びます。

次ページへつづく

■地上デジタル設定

4 地上デジタル設定の確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押す

- はいを選んで決定を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキャンが始まります。
（スキャンが完了するまで 10 分程度かかることがあります。）
- いいえを選んで決定を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキャンをおこないません。手順 6 に進んでください。
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、確認画面に結果が表示されます。

5 次へを選んで決定を押す

▷ **[壁などのアンテナ端子とつながっているアンテナ線が、地上デジタルの入力端子につながっているか確認してください。]が表示されたときは**

閉じるが選ばれているので決定を押して、アンテナ⇔本機の接続をご確認後、再スキャンを選んで決定を押してください。再度、地上デジタル設定が始まります。

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは（地上デジタル放送のとき）」の「地上デジタル放送が映らない。」をご覧ください。P.90

■BS／CS デジタル設定

BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、BS／CS デジタル設定が必要です。
アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

6 BS･CS デジタル放送を受信･取得するかしないかを選んで決定を押す

- 受信･取得を選ぶと、情報取得が始まります。
（情報取得が完了するまで数十秒程かかることがあります。）
- 取得しないを選ぶと、情報取得がスキップされます。

▷ **[情報を取得できませんでした]が表示されたときは**

情報取得をスキップする場合は次へを選んで決定を押してください。
再度情報を取得する場合は、戻るを選んで決定を押し、アンテナ⇔本機の接続をご確認後、受信･取得を選んで決定を押してください。再度、情報取得が始まります。

■パネルメンテナンス設定

画面の焼き付き低減処理をおこないます。

7 パネルメンテナンスをするかしないかを選んで決定を押す

- 開始を選ぶと、画面の焼き付き低減処理が始まります。
（実行中は画面を消去しますが、故障ではありません。約 10 分で完了し、完了後は自動的に画面を表示します。）
- スキップを選ぶと、画面の焼き付き低減処理がスキップされます。
（次回リモコンで電源を切ったときに、自動的に再開します。）

お知らせ
- パネルメンテナンスを実行中に、リモコンまたは本機側面の電源ボタンを押すと、パネルメンテナンスを中断することができます。

ご注意
- パネルメンテナンスの実行中は画面に白い水平線が見えることがありますが、故障ではありません。
- パネルメンテナンスの実行中はパネルを強く押したり、こすったりしないでください。
- パネルメンテナンスの実行は有機 EL パネルに負担がかかりますので、頻繁に実行することは避けてください。

8 次へを選んで決定を押す

9 続けて設定をおこなうか、かんたん一括設定を終了するかを選んで決定を押す

- 続けて設定をおこなうを選ぶと詳細調整の画面が表示されますので、手順 10 に進んでください。
- かんたん一括設定を終了するを選ぶとメッセージが表示されます。
完了が選ばれているので決定を押すと、**[かんたん一括設定]**が完了します。

■ネットワーク設定

ネットアプリを利用するには、ネットワーク設定が必要です。
ネットワーク環境に合わせて設定してください。

10 ネットワークを設定するかしないかを選んで決定を押す

- はいを選んだ場合は、手順 11 に進んでください。
- いいえを選んだ場合は、手順 12「連携機能」に進んでください。P.36

11 有線 LAN または無線 LAN を選んで決定を押す

- ネットワークの接続方法についてくわしくは「ネットワークを接続する」をご覧ください。P.70
- 有線 LAN を選んだ場合は、「有線 LAN を設定する」をご覧ください。
- 無線 LAN を選んだ場合は、「無線 LAN を設定する」をご覧ください。
- 有線 LAN と無線 LAN は同時に利用できません。
- キャンセルを選んだ場合は、手順 12「連携機能」に進んでください。P.36

次ページへつづく

有線 LAN を設定する

- あらかじめ本機を LAN ケーブルでネットワークに接続してください。

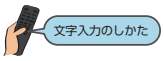
設定モードを選んで決定を押す

▷ **自動設定を選んだときは**

[ネットワーク設定]の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。
接続テストが終わると確認画面が表示されます。次へを選んで決定を押して、手順 12「連携機能」に進んでください。P.36

▷ **手動設定を選んだときは**

[IP アドレス設定]、**[DNS 設定]**、**[プロキシサーバー設定]**の項目が順番に表示されるので、
各項目の設定方法を選んで決定を押してください。手動で数値などを入力することができます。



P.82

無線 LAN を設定する

- 無線 LAN をお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線 LAN ネットワークのセキュリティを設定していない場合は、LAN 録画、ホームネットワークの機能はお使いになれません。

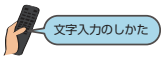
無線 LAN 接続の設定方法を選んで決定を押す

▷ **無線 LAN 自動検出を選んだときは**

本機が利用可能な無線 LAN アクセスポイントを検出して、設定します。
接続するルーターの SSID と暗号化キーをご用意ください。

① **検出された無線 LAN アクセスポイントから、接続したいルーターの SSID を選んで決定を押す**

② **暗号化キーを入力し、緑を押す**



P.82

- 確認画面が表示されるので、次へを選んで決定を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります。（「KEY」、「セキュリティーキー」など。）

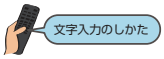
③ **設定モードを選ぶ**

- 自動設定を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。次へを選んで決定を押して、手順 12「連携機能」に進んでください。P.36
- 手動設定を選んだときは、EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」➡「通信設定」をご覧ください。

▷ **手動接続設定を選んだときは**

手動接続設定を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

① **接続したいルーターの SSID を入力して、緑を押す**



P.82

② **暗号化方式を選んで決定を押す**

③ **暗号化キーを入力し、緑を押す**

- 確認画面が表示されるので、次へを選んで決定を押してください。
- 暗号化キーの名称はメーカーによって異なります。(「KEY」、「セキュリティーキー」など。)

④ **設定モードを選ぶ**

- 自動設定を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。次へを選んで決定を押して、手順 12 「連携機能」に進んでください。P.36
- 手動設定を選んだときは、EM 「各種設定」 ➡ 「ネットワークを接続・設定する」 ➡ 「通信設定」をご覧ください。

▷ **かんたん接続設定を選んだときは**

[プッシュボタン方式]または**[PIN コード方式]**でかんたんに無線 LAN を設定できます。

■プッシュボタン方式

① **画面の指示に従って、無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押す**

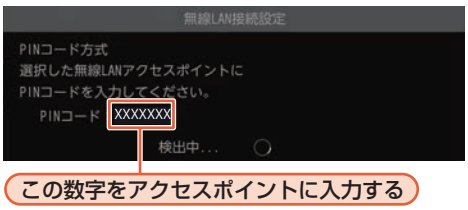
- 自動的に各項目が設定され、無線 LAN の設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。

  次へを選んで決定を押して、手順 12 「連携機能」に進んでください。P.36

■PIN コード方式

① **検出された無線 LAN アクセスポイントから、本機の接続先を選んで決定を押す**

② **表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントやパソコンに入力する**



- PIN コードの入力のしかたについて、くわしくはお使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動的に各項目が設定され、無線 LAN の設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。

  次へを選んで決定を押して、手順 12 「連携機能」に進んでください。P.36

お知らせ

- **すべての無線 LAN ルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。**
- 2.4GHz 帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線 LAN の通信が途切れることがあります。5GHz 帯に対応した無線 LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz 帯でのご使用をおすすめします。
- 2.4GHz 帯の無線 LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、無線 LAN 通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USB ハブおよび USB ケーブルは本機から離して配置してください。
- 無線 LAN の通信状態が良くない場合は、無線 LAN ルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

次ページへつづく

■連携機能

スカパー！プレミアムサービス機能や FUNAI Connect アプリなどのネットワークを使った連携機能を利用できます。（利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を使用できます。）

12 連携機能を使用するかしないかを選んで決定を押す

入（使用する）	スカパー！プレミアムサービス機能や FUNAI Connect アプリ、番組の配信などのネットワークを使った連携機能を利用できます。（利用中に本機の電源を「切」にしても、連携機能を使用できます。）
切（使用しない）	連携機能を使用しません。

- 切を選んだ場合は、手順 15「テレビの設置設定」に進んでください。

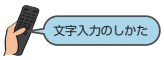
■テレビ名

テレビ名を識別しやすい名前に変更すると、ホームネットワーク上の機器から、より見つけやすくなります。

13 テレビ名を変更するかしないかを選んで決定を押す

▷ テレビ名を変更するには

[ホーム] ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[ネットワーク設定]** ➡ **[機器連携設定]** ➡ **[テレビ名]** ➡ **[テレビ名設定]** であとからでもお好みの名前に変更することができます。



P.82

■宅外操作環境確認

FUNAI Connect アプリを外出先からご利用いただけるかを事前に確認できます。

14 ネットワーク環境の確認をするかしないかを選んで決定を押す

■テレビの設置設定

本機の設置方法によって設定を変更してください。

15 テレビの設置設定を選んで決定を押す

■映像モード設定

映像モード設定を切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

16 映像モードを省電力に適した設定にするかどうかを選んで決定を押す

お知らせ

- この手順で映像モード設定を切り換えずに、かんたん一括設定完了後、**[サブメニュー]** ➡ **[映像モード]** で切り換えることもできます。P.41

▷ 画面の明るさを調整するには

[ホーム] ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[明るさ]** でお好みの画質（明るさ）に調整することができます。画面を暗くすると、消費電力の節約になります。

EM「各種設定」➡「画質設定をする」➡「明るさ／色の濃さ／色温度／シャープネス」

■おまかせ録画設定

新番組を自動的に録画する機能を設定します。

17 新番組おまかせ録画機能を使用するかしないかを選んで決定を押す

入	新番組をおまかせ録画したいときに、以下の検索設定で録画します。 **録画先:** 「HDD」 **フォルダー設定:** 「すべて(指定しない)」 **自動消去:** 「入」 **詳細調整:** **放送種別:** 「地デジ」 **チャンネル:** 「すべて」 **ジャンル:** 手順 18 で設定します。 **出演者:** 「指定なし」 **除外ワード:** 「指定なし」 **時間帯:** 「指定なし」 **番組の長さ:** 「10 分以上　4 時間以内」
切	新番組おまかせ録画機能を使用しません。

- 切を選んだ場合は、手順 19 に進んでください。
- 条件の変更について、くわしくは「自動で録画する(おまかせ録画)」をご覧ください。P.51
- おまかせ録画の無効化について、くわしくは「おまかせ録画の検索設定を無効にする」をご覧ください。P.53

▷ **入を選んだときは**

手順 18 でお好みのジャンルを指定してください。

18 新番組おまかせ録画機能のジャンルを指定するかしないかを選んで決定を押す

指定する	ジャンルを選択する画面が表示されるので、お好みのジャンルを選んで決定を押してください。
指定しない	すべてのジャンルの新番組をおまかせ録画します。

- 指定しないを選ぶと、放送予定の新番組やドラマの初回を検索して録画できます。
(意図しない番組も自動的に録画される場合があります。)

19 完了を選んで決定を押す

- **[かんたん一括設定]**が完了します。

かんたん一括設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
このようなときは、「困ったときは」をお読みになり、症状をご確認ください。P.88

▷ **テレビの見かたについて**

EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送を見る」

▷ **お好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには**

EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「数字ボタンのチャンネルを追加･変更する」

デジタル放送でできること

デジタル放送を見る

主な操作については、「リモコン」の❶～❹をご確認ください。P.18
くわしくは EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送を見る」をご覧ください。
なお、本機は外部入力からの4K 映像はお楽しみいただけますが、2018年12月1日スタートのBS･110 度CSによる 4K･8K 放送は受信できません。別売の対応チューナーが必要です。

お知らせ

- BS･110 度 CS による 4K･8K 放送に関する一般的なお問い合わせ先(2018 年 4 月現在)
  (一社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
  新 4K8K 衛星放送コールセンター(ナビダイヤル:通話料はお客様ご負担となります。)
  TEL 0570-048-001 ※運用時間は、平日 9:00～17:00
  ※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

データ放送を見る

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送や BS ラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.98
また、データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。独立データ放送についてくわしくは EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「サービスを切り換える(独立データ放送を見る)」をご覧ください。

1 デジタル放送を見ているときにデータ d を押す

- 番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

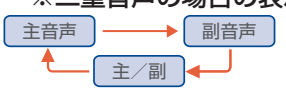
- 4 種類の色ボタン(青、赤、緑、黄)や▲･▼･◀･▶、決定を使って操作してください。
  その他のボタン操作が必要な場合もあります。
- 連動データ放送を見ているときにデータ d をもう一度押すと、テレビ放送または BS ラジオ放送に戻ります。

音声を切り換える

番組の音声には二重音声(二カ国語)･ステレオ･サラウンドなどがあり、自動的に切り換わります。
二重音声(二カ国語)放送や音声信号が複数ある場合は、お好みに合わせて切り換えることができます。

複数の音声がある番組を見ているときに音声切換を押す

- ▲･▼で項目を選んで決定を押すごとに次のように切り換わります。
  ※二重音声の場合の表示例



- 切り換わる音声の種類は、番組によって異なります。

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕が表示できるようになっています。
本機では、字幕の表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときにサブメニューを押し、字幕切換を選んで決定を押す

- ▲·▼で字幕言語を切り換えます。
  字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

お知らせ
- 字幕情報がない番組もあります。
- 録画した番組の再生時も有効です。

画面表示を確認する

現在視聴している番組名、チャンネル番号、放送や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

画面表示を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。
- 外部入力についてくわしくは EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「画面表示を確認する」をご覧ください。

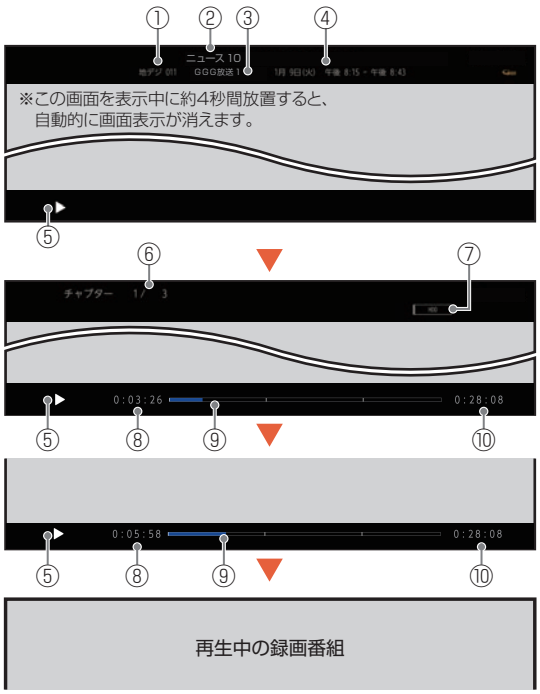
▷ デジタル放送のとき

① リモコンのボタン番号
② 放送の種類
③ 放送局のロゴ
④ 放送局の 3 桁のチャンネル番号
⑤ 放送局名
⑥ 現在放送中の番組名
⑦ 現在の日時
⑧ 音声の種類※

お知らせ
- 本機の動作状態（放送の視聴中や再生中、録画中など）によって、表示される情報が変わります。
- チャンネルや音声·字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

※デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主／副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名（視聴中の番組により「日本語」「英語」など、表示が異なります）があります。

▷ 録画番組を再生しているとき



① 放送の種類／放送局の 3 桁のチャンネル番号
② 録画番組名
③ 放送局名
④ 録画番組の録画日時
⑤ 動作状態
⑥ 現在のチャプター番号／総チャプター数
⑦ 録画番組が保存されているメディアの種類
⑧ 再生時間
⑨ タイムバー（再生位置の目安）
⑩ 総再生時間

外部機器の映像を見る（入力切換）

外部機器との接続方法については、「レコーダーまたは CATV（ケーブルテレビ）チューナーをアンテナでつなぐ」～「光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続」をご覧ください。P.26～P.29

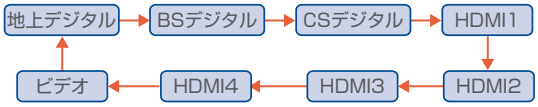
例：HDMI 3端子に接続した DVD プレーヤーの映像を見る場合

ホーム からでも操作OK!!

1 本機と DVD プレーヤーの電源を入れる

2 リモコンの 入力切換 を押して、HDMI3 に切り換える

- 押すごとに次のように切り換わります。



項目を選んで 決定 を押して切り換えることもできます。

- 本機側面の入力切換ボタンで切り換えることもできます。

3 DVD の再生をする

ご注意
- レコーダーや DVD プレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

サブメニューを使う

サブメニューを押すと、現在の視聴中の画面に対して、各種設定の変更ができます。

- **映像モード**
  視聴に適した映像モードを設定します。
  EM「各種設定」➡「画質設定をする」➡「映像モード」
- **音声モード**
  映像に合った音質の設定を 4 つのモードの中から選ぶことができます。
  EM「各種設定」➡「音声設定をする」➡「音声モード」
- **画面サイズ**
  映像に合わせた画面サイズを選べます。選べる画面サイズは、見ている番組や映像の種類によって異なります。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「画面サイズを選ぶ」
- **字幕切換**
  デジタル放送の番組によっては、字幕が表示できるようになっています。字幕の表示／非表示や言語を設定できます。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「字幕を出す」
- **放送オプション**
  チャンネル内の映像を切り換えたり、音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換えたりすることができます。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「マルチ番組の映像、音声などを切り換える」
  EM「再生する」➡「再生するときに便利な機能」➡「音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換える」
- **番組内容**
  放送中の番組内容を表示します。
  EM「再生する」➡「録画した番組を再生する」➡「再生中に番組内容を見る」
- **ヘッドホン音量**
  ヘッドホンから出力される音量を調節できます。
  EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「ヘッドホン音量を変更する」
- **オンタイマー**
  自動的に本機の電源を入れることができます。
  EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「自動的に電源を入れる(オンタイマー)」
- **消画**
  音声を出力したまま、画面の映像を表示しないように設定できます。
  EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「映像を非表示にする(消画)」
- **対応信号フォーマット**
  接続された HDMI 機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。
  EM「各種設定」➡「接続機器設定をする」➡「HDMI 信号フォーマットを設定する」

「ネットアプリ」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、動画配信サービスをお楽しみいただけます。
サービスをご利用いただくには、基本的に別途契約(有料)が必要です。(無料のサービスもあります。)
また、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

お知らせ
- サービス利用中に文字入力が必要な場合は、画面表示に沿って操作してください。
- 動画配信サービスのご利用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

「ネットアプリ」のご利用に必要な接続と設定

本機で「ネットアプリ」を利用するためには、ブロードバンド環境(FTTH、CATV(ケーブルテレビ)など)が必要です。
「ネットアプリ」を利用する前に、「ネットワークを接続する」で通信設定をおこなってください。P.70
動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。
くわしくは各動画配信サービスまたは、お客様が契約されたプロバイダーのホームページをご覧ください。

利用するサービスを選んで専用画面を表示する

ホーム からでも操作OK!!

1 放送や外部入力を視聴中に ネットアプリ を押す

2 見たいサービスを選んで 決定 を押す

- ネットアプリ使用制限をするに設定している場合は、1 ～ 10/0 で暗証番号の入力が必要です。
  EM「各種設定」➡「制限設定をする」➡「暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する」

3 選択したサービスの画面が表示されます。
画面に沿って操作してください。
主に使用するのは▲・▼・◀・▶と 決定 です。

- 利用するサービスごとに操作方法は異なります。
- サービスを利用中に 地上 、BS 、CS のいずれかを押すと放送画面に切り換わります。

お知らせ

全般
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。
- 本機を譲渡または廃棄される場合は、本機に記録されたネットワーク履歴情報は、**[すべての初期化]**をおこない消去してください。P.81

接続
- お客様の利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、映像が乱れる、途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。
  また、無線 LAN で各サービスをご利用の場合は、設置環境や設定内容により、上記のような症状が出る場合がありますので、LAN ケーブルでの接続をおすすめします。

各サービスについて
- サービス内容は、予告なく変更されることがあります。最新情報や利用条件などについては、各サービスの公式情報サイトやトップページでご確認のうえ、ご利用ください。

「ネットアプリ」の使用制限について
- 本機には、「ネットアプリ」を使用するときにお子さまに見せたくない動画配信サービスの使用を制限する機能があります。お子さまが本機を使って「ネットアプリ」を使用になるご家庭では、「ネットアプリ」を使用する際に、暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、「暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する」をご覧ください。
  EM「各種設定」➡「制限設定をする」➡「暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する」)

録画の前に

本機では、ハイビジョン画質によるデジタル放送の最大同時録画数は、2 番組まで対応しています。
LAN 録画機能を含めた場合は 3 番組まで同時録画が可能です。

ご注意

- 本機の不具合または、放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画するメディアについて

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止･制限されています。

番組の録画制限	HDD　USB-HDD	SeeQVault -HDD
制限なしに録画可能	○	○
1 回だけ録画可能	○	○
ダビング 10	○	○ ※
録画禁止	×	×

○: できる　×: できない

※SeeQVault-HDD に直接録画したダビング 10 番組は、コピーワンス(1 回だけ録画可能)番組になります。
(移動はできます。)P.66

ご注意

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 二カ国語･マルチ番組･字幕を含む番組の録画制限についてくわしくは「二カ国語･マルチ番組･字幕について」をご覧ください。
  EM「さまざまな情報」➡「二カ国語･マルチ番組･字幕について」

録画モードについて

録画モードとは番組の画質のことです。

▷ 録画モード DR とは

- 放送そのままの画質になります。
  本機では、デジタル放送を録画する場合に DR で録画します。

▷ 録画モード SKP や AVC とは

- スカパー！プレミアムサービスチューナー側の番組を LAN 録画機能で録画すると、番組に応じて録画モードが SKP または AVC になります。任意の録画モードは設定できません。
- 当社製のレコーダーと接続している場合は、HDMI-CEC 機能を利用することでレコーダーへ録画予約が可能です。その際、任意の録画モードに設定できます。

放送中の番組を録画する

HDD

1 地上 、BS または CS を押して、録画したい放送を選ぶ

2 チャンネル または 1 ～ 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

3 録画 を押す

- ホーム ➡ 設定 ➡ 機能設定 ➡ 録画／再生設定 ➡ ワンタッチ録画の終了方法を番組が終わるまでに設定しているときは、番組が終了すると自動的に録画を停止します。

▷ 録画を停止するときは

停止 を押す

- 停止した位置までが 1 つの番組となります。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、**[はい]**を選んで 決定 を押してください。

ご注意

- ダビング中は 録画 を押しても録画できない場合があります。
- 以下の場合は、**[ワンタッチ録画の終了方法]**は設定できません。
  - 録画中
  - ダビング中

お知らせ

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、画面表示 を 2 回押して画面表示を表示すると確認できます。

指定した時間で録画を終了するには（ワンタッチタイマー録画）

HDD

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。

■ ワンタッチタイマー録画を利用するときは、ホーム ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[録画／再生設定]** ➡ **[ワンタッチ録画の終了方法]**を**[停止ボタンを押すまで]**に設定してください。

「放送中の番組を録画する」の手順 3 で録画を開始後、録画 を 2 回以上押すと、15 分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。（2 回押すと 15 分後、3 回押すと 30 分後に録画を終了します。）

- 最大 4 時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻したいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か 録画 を押してください。
- 録画時間を設定しないときは、15 時間で録画が自動的に停止します。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、録画 を押してください。

▷ ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは

- 1 番組だけ録画中の場合は、停止 を押してください。
- 同時録画中／追っかけ再生中の場合は、停止 を押して、▲・▼ で停止したい録画を選んでください。
- ワンタッチタイマー録画中の一時停止はできません。

番組表（G ガイド）でできること

番組表について

地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の番組表を表示することができます。

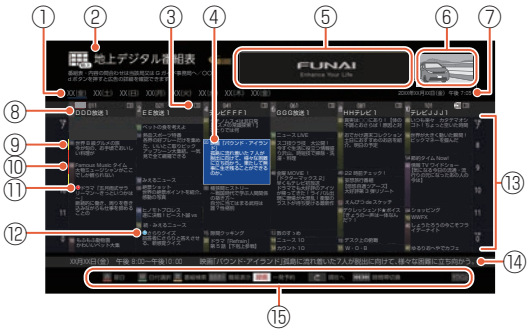
ホーム からでも操作OK!!

番組表 を押して、地上 、BS または CS でお好みの放送の種類を選ぶ

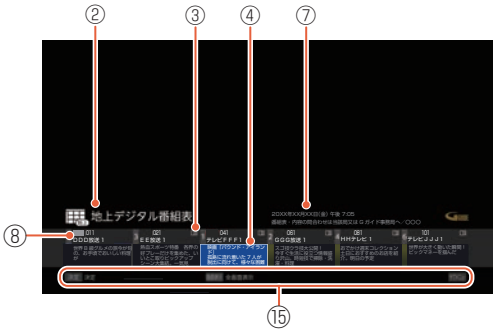
- 番組表を表示中に 画面表示 を押して、簡易番組表に切り換えることもできます。

番組表の見かた

番組表（全画面）の表示例



簡易番組表の表示例



① 現在の日付から８日分の日付表示
② 放送の種類
③ マルチ表示
④ 選択中の番組
⑤ 広告
⑥ 現在視聴中の放送局の映像
⑦ 現在の日時
⑧ 放送局のロゴ／放送局の３桁のチャンネル番号／放送局名
⑨ これ以上録画予約できない時間帯（黄色帯）
⑩ 重複のためすでに録画できない番組が存在する時間帯（赤色帯）
⑪ ：録画予約済み
⑫ ：視聴予約済み
⑬ 時間
⑭ 選択中の番組の放送日時、かんたんな情報
⑮ 操作ガイド

■ 録画番組の重複により、これ以上録画予約できない時間帯（⑨）を黄色で表示し、重複のためすでに録画できない番組（⑩）が存在する時間帯を赤色で表示します。
■ 色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻の帯が設定した色に変わります。

日付を切り換える

- 赤 を押すと翌日の番組表に切り換えます。
- 青 を押すと前日の番組表に切り換えます。

現在の番組を表示する

10秒戻し を押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

CH 毎表示に切り換える

選んだチャンネルの 8 日分の番組表を表示させることができます。

① チャンネルを選んで サブメニュー を押す

② CH 毎表示を選んで 決定 を押す

- CH 毎表示では、曜日表記の土と日の背景色が他の曜日表記と異なる色で表示されます。
- 全 CH 表示に戻すには、手順②で全 CH 表示を選んで 決定 を押します。

ページを切り換える

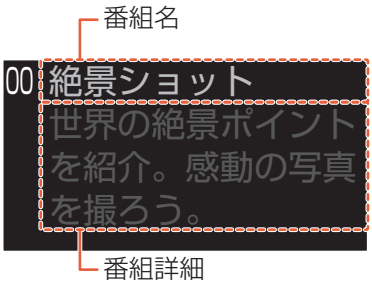
- スキップ ⏮ ・スキップ ⏭ を押すと、表示時間数切換で設定した時間に応じて上下にページが切り換わります。
- 表示時間数切換は 2 時間、4 時間および 6 時間に設定できます。
- 早戻し ⏪ ・早送り ⏩ を押すと、表示チャンネル数切換で設定したチャンネル数に応じて左右にページが切り換わります。
- スキップしたチャンネル数やお住まいの地域（県域）で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

番組詳細の表示を切り換える

番組表で番組詳細を表示するかしないかを切り換えることができます。

① サブメニュー を押す

② 番組詳細表示切換を選んで 決定 を押す



③ 表示するまたは表示しないを選んで 決定 を押す

番組表から一発予約で予約する

HDD

ホーム からでも操作OK!!

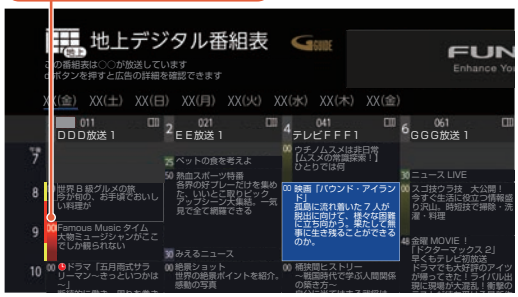
1 番組表 を押す

2 地上 、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 予約したい番組を選んで 録画 を押す

- HDD への録画予約が確定し、選んだ番組に が表示されます。
- 番組表に を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 が表示されます。
- 予約録画が始まると、下記の帯部分が赤い表示に変わります。

赤い表示に変わります。



- 録画 を使った一発予約では、録画先は HDD になります。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、戻る を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。
（電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）

▷ 予約の内容を変更したいときは

① 一発予約した番組を選んで 決定 を押す

② 予約修正 を選んで 決定 を押す

③ 予約の内容を変更する

- くわしくは「番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）」の手順 5 以降をご覧ください。P.49

▷ 予約の確認・変更・消去をするときは

予約の確認「設定済みの録画予約を確認する」、予約の変更「設定済みの録画予約の内容を変更する」、予約の消去「不要な録画予約を取り消す」をご覧ください。P.54、P.54、P.56

▷ 録画を停止するときは

停止 を押す

- 停止した位置までが 1 つの番組となります。
（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。

お知らせ

- 予約が重なったときは、「予約が重なったときは」をご覧ください。P.58

番組を検索して予約する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

録画したい番組を検索して予約できます。
番組表のデータをカテゴリー、ジャンル、出演者およびフリーワードで検索して、お好みの番組を探すことができます。

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 番組表を表示中に サブメニュー を押す

3 番組検索 を選んで 決定 を押す

4 お好みの検索方法を選んで 決定 を押す

① **[検索方法]** を選んで 決定 を押す

② カテゴリー、ジャンル、出演者または フリーワード を選んで 決定 を押す

- くわしい操作方法は、EM「録画する」➡「番組を検索して予約する」をご覧ください。

5 日付 を選んで 決定 を押す

6 検索する日付を選んで 決定 を押す

7 放送種別 を選んで 決定 を押す

8 検索する放送種別を選んで 決定 を押す

9 検索開始 を選んで 決定 を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

▷ 番組の詳細内容を確認するには

内容を確認したい番組を選んで 決定 を押す

EM「録画する」➡「番組表(G ガイド)でできること」➡「番組の詳細内容を確認する」

▷ 今すぐ番組を見たいときは

現在放送中の番組を選んで 決定 ➡ **[番組内容]** ➡ 見る を選んで 決定 を押す

10 予約したい番組を選ぶ

▷ 一発予約で予約するには

録画 を押す

- 選んだ番組に[ ]が表示されます。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

▷ お好みの設定で予約するには

決定 を押して **[番組内容]** を表示してから「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」の手順 4 以降をおこなう P.49

ご注意

- フリーワードの入力は全角／半角にかかわらず、最大で 30 文字までになります。
- 検索結果は各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、カテゴリーやジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- **[カテゴリー]**、**[ジャンル]**、**[出演者]** で検索した場合と **[フリーワード]** で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。
- 検索結果は最大 300 件まで表示できます。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。

お知らせ

- フリーワードには、スペースをはさんで複数のワードを設定することもできます。この場合は、入力した全ワードを含む番組を検索します。(例:ヨーロッパ　鉄道旅行)
- 検索した設定は再度番組検索を表示しても記憶されていますが、**[日付]** の設定は **[すべて]** に戻ります。

番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

番組表から録画予約したい番組を選んで、お好みの設定で録画予約できます。

▶ 準備

- USB-HDD に録画するときは、USB 1 通常録画（HDD 用）端子に USB-HDD または SeeQVault-HDD をつないでおく P.68

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 地上 、BS または CS を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 録画予約したい番組を選んで 決定 を押す

4 録画予約 を選んで 決定 を押す

- 現在の設定内容が表示されます。設定内容に問題なければ 予約する を選んで 決定 を押してください。設定を変更したい場合は、手順 5 に進んでください。
- 放送が確定していない番組の場合は、確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押してください。

5 設定内容を変更したい項目を選んで 決定 を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

番組表予約で設定できる項目一覧

録画日	当日の日付（2018 年 1 月 19 日など）
	毎週○（○は曜日を表示）
	月～金
	月～土
	火～土
	毎日

次ページへつづく

▷ 毎週／毎日録画をするときは

毎週○や月～金、月～土、火～土、毎日を選ぶ

- 日曜日以外に放送される番組を毎日録画する場合は月～土を、月曜から金曜の深夜番組（日付が変更してから放送される番組）を毎日録画する場合は火～土をおすすめします。

録画先	HDD
	USB-HDD○：XXX※
	SeeQVault-HDD○：XXX※
	HDMI○：XXX※

※**[USB-HDD]**、**[SeeQVault-HDD]**の「○」は番号、「X」は USB-HDD 名を表示します。
[HDMI]の「○」は番号、「X」はデバイス名を表示します。

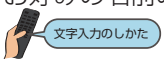
フォルダー設定	すべて（指定しない）
	新規フォルダー
	新規フォルダー（番組名）
	作成したフォルダー

▷ すべて（指定しない）を選ぶと

- すべておよびジャンルに保存されます。

▷ 新規フォルダーを選ぶと

- お好みの名前のフォルダーを作成できます。



P.82

▷ 新規フォルダー（番組名）を選ぶと

- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダーを作成して、録画できます。（フォルダー名はお好みの名前にも変更できます。）

6 すべて設定が終わったら、予約するを選んで決定を押す

- 番組表に戻り、選んだ番組に🕒が表示されます。（番組表に🕒を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線▌が表示されます。毎週／毎日録画をした場合は、該当する番組すべてに🕒が表示されます。）
- 設定が終わったら、戻るを押してください。
- 本機を使用しないときは電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）

▷ 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」をご覧ください。P.58

▷ 他の番組を続けて予約するときは

このあと手順 2 ～ 6 を繰り返す P.49 ～ P.50

▷ 予約の確認・変更・消去をするときは

予約の確認「設定済みの録画予約を確認する」、予約の変更「設定済みの録画予約の内容を変更する」、予約の消去「不要な録画予約を取り消す」をご覧ください。P.54、P.54、P.56

- 予約は 200 件まで登録できます。HDD、USB-HDD または SeeQVault-HDD への 1 番組あたりの録画可能時間は 15 時間です。

▷ 録画を停止するときは

停止■を押す

- 停止した位置までが 1 つの番組となります。（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）
- 確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押してください。

自動で録画する（おまかせ録画）

おまかせ録画について

フリーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

おまかせ録画設定画面の見かた

① 録画先メディア
② 検索条件
③ 検索条件詳細
④ 検索実行：入／切
⑤ 操作ガイド

ご注意

- おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表などから予約してください。
- おまかせ録画できる番組は、1 日に最大 12 時間までです。
- おまかせ録画は 2 日先までの番組が録画予約されます。

新番組おまかせ録画を設定する

HDD　USB-HDD

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 おまかせ録画を選んで 決定 を押す

3 新番組を選んで 決定 を押す

- 詳細を設定する場合は、EM「録画する」➡「自動で録画する（おまかせ録画）」➡「おまかせ録画を登録する」の手順 4 以降をおこなってください。

4 設定完了を選んで 決定 を押す

5 閉じるを選んで 決定 を押す

6 緑 を押して検索実行を入にする

- 緑 を押すたびに検索実行の入と切が切り換わります。
- 新番組おまかせ録画を入にすると、地上デジタル放送の新番組やドラマの初回を検索して録画します。
- 新番組おまかせ録画を切にしても、すでに検索された録画予約は消去されません。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

▷ **新番組以外の検索条件を選ぶには**

くわしくは EM「録画する」➡「自動で録画する（おまかせ録画）」➡「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

お知らせ

- おまかせ録画は、新番組おまかせ録画 1 個を含めて最大 16 個まで登録できます。
- 番組表での表示が左のチャンネルから順に予約されます。

登録したおまかせ録画を変更する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで決定を押す

2 おまかせ録画を選んで決定を押す

3 変更したいおまかせ録画を選んで決定を押す

4 EM「録画する」➡「自動で録画する（おまかせ録画）」➡「おまかせ録画を登録する」の手順 4 以降をおこなう

ご注意
- 変更した内容は次の検索時から反映されます。変更前に検索された録画予約には反映されません。

番組表からおまかせ録画を登録する

HDD　USB-HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 番組表 を押す

2 おまかせ録画したい番組を選んで決定を押す

3 おまかせ録画を選んで決定を押す

4 検索条件を選んで決定を押す
- 検索条件についてくわしくは EM「録画する」➡「自動で録画する（おまかせ録画）」➡「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。
- 一覧が表示された場合は、お好みの条件を選んで決定を押してください。
- 該当データなし が表示された場合は、他の条件を選択してください。

5 EM「録画する」➡「自動で録画する（おまかせ録画）」➡「おまかせ録画を登録する」の手順 5 以降をおこなう

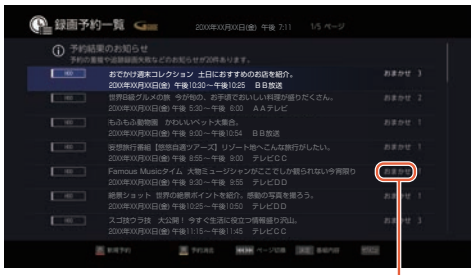
おまかせ録画で登録された予約を確認する

HDD　USB-HDD

1 ホーム を押す

2 番組表／予約を選んで 決定 を押す

3 予約一覧を選んで 決定 を押す



- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、予約一覧を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、戻る を押してください。

おまかせ録画の検索設定を無効にする

HDD　USB-HDD

おまかせ録画を一時的に実行しないようにします。

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 おまかせ録画を選んで 決定 を押す

3 無効にしたいおまかせ録画を選んで 緑 を押す

- 緑 を押すたびに検索実行の入と切が切り換わります。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

ご注意

- おまかせ録画の**[検索実行]**を**[切]**にしても、すでに検索された録画予約は消去されません。消去したいときは、「予約一覧から録画予約を取り消す」をご覧ください。P.56

おまかせ録画の登録を消去する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

おまかせ録画の登録を消去します。

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 おまかせ録画を選んで 決定 を押す

3 消去したいおまかせ録画を選んで 黄 を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 決定 を押してください。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

ご注意

- お買い上げ時にあらかじめ設定されている**[新番組]**の登録は消去できません。新番組おまかせ録画をしない場合は、「おまかせ録画の検索設定を無効にする」をご覧ください。P.53
- おまかせ録画の登録を消去しても、すでに確定された録画予約は消去されません。消去したいときは、「予約一覧から録画予約を取り消す」をご覧ください。P.56

自動消去する条件を設定する

HDD　USB-HDD

自動消去を実行する HDD／USB-HDD の残り容量を設定できます。

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 おまかせ録画を選んで 決定 を押す

3 赤 を押す

4 お好みの残り容量を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、戻る を押してください。

録画予約を確認・変更・消去する

設定済みの録画予約を確認する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

予約一覧で録画予約を確認することができます。

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 予約一覧を選ぶ

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、予約一覧を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、戻る を押してください。

予約一覧の見かた

① 予約結果のお知らせ
② 現在の日時
③ 番組名
④ 予約日時、放送局名
⑤ おまかせ録画
⑥ 録画先メディア
⑦ スキップ設定をしている予約
⑧ 操作ガイド

■ 録画中の予約には、録画 が表示されます。

■ 重複 が表示されたときは、「重なっている予約を確認するときは」をご覧ください。P.58

設定済みの録画予約の内容を変更する

予約一覧または番組表から録画予約の内容を変更することができます。

予約一覧から録画予約の内容を変更する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで 決定 を押す

2 予約一覧を選んで 決定 を押す

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して、予約一覧を選んで操作することもできます。

3 変更したい録画予約を選んで サブメニュー を押す

4 予約修正を選んで決定を押す

5 変更したい項目へ移動して、内容を変更する

- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

6 設定内容を変更したい項目を選んで決定を押す

● お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	USB-HDD○：XXX※
	SeeQVault-HDD○：XXX※
	HDMI○：XXX※

※**[USB-HDD]**、**[SeeQVault-HDD]**の「○」は番号、「X」は USB-HDD 名を表示します。
[HDMI]の「○」は番号、「X」はデバイス名を表示します。

フォルダー設定	すべて（指定しない） • **[すべて]**および**[ジャンル]**に保存されます。
	新規フォルダー • お好みの名前のフォルダーを作成できます。
	新規フォルダー（番組名） • 録画予約する番組と同じ名前でフォルダーを作成して、録画できます。（フォルダー名はお好みの名前にも変更できます。） • 「手動で入力して予約する（日時指定予約）」で予約した番組では選べません。
	作成したフォルダー

7 すべて設定が終わったら、決定へ移動して、決定を押す

● 予約が確定し、予約一覧に戻ります。
● 設定が終わったら、戻る を押してください。

▷ 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」をご覧ください。P.58

不要な録画予約を取り消す

予約一覧から録画予約を取り消す

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

1 ホーム を押して、番組表／予約を選んで決定を押す

2 予約一覧を選んで決定を押す

- 番組表を表示中にサブメニューを押して、予約一覧を選んで操作することもできます。

3 予約を取り消したい番組を選んで黄を押す

- サブメニューを押して、予約消去を選んで操作することもできます。

4 予約を取り消したい番組を選んで決定を押す

- 選んだ番組に[✓]が付きます。
- 緑を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- 黄を押すとすべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、録画予約を取り消したい番組を選んでください。

5 番組を選び終わったら、消去実行へ移動して、決定を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押してください。
- 消去が終わったら、戻る を押してください。
- 番組表から録画予約を取り消すこともできます。
  EM「録画する」➡「録画予約を確認･変更･消去する」➡「不要な録画予約を取り消す」

LAN 録画で録画する

HDD

LAN 録画とは、ネットワークに接続した CATV(ケーブルテレビ)チューナーまたはスカパー！プレミアムサービスチューナーからの映像をハイビジョン画質で録画できます。

▶ 準備

- CATV チューナーから録画するときは、本機と CATV チューナーをつないでおく P.70
- スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画するときは、本機とスカパー！プレミアムサービスチューナーをつないでおく P.70

CATV チューナー側またはスカパー！プレミアムサービスチューナー側で、録画予約する

- テレビ画面には録画している映像は表示されません。
- 録画が終了すると録画一覧に番組が表示されます。

▷ 録画予約できているか確認するには

ホーム ➡ 番組表／予約 ➡ 予約一覧で確認できます。

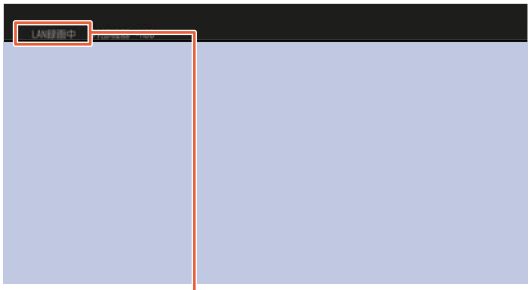
放送局名が[LAN予約]と表示されます。

- 確認が終わったら、戻る を押してください。

▷ 録画されているか確認するには

画面表示 を押す

(現在の画面によっては 画面表示 を数回押してください。)



録画中は[LAN録画中]と表示されます。

- 確認が終わったら、戻る を押してください。

▷ 録画を停止するには

停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。
- LAN 録画と通常録画の同時動作中は、▲・▼ で停止する録画を選んで 決定 を押してください。

ご注意

- CATV チューナー側またはスカパー！プレミアムサービスチューナー側でのみ、録画予約を変更できます。(CATV チューナー側またはスカパー！プレミアムサービスチューナー側で録画予約を消去しても本機の予約一覧から消去されないときは、本機の予約一覧から録画予約を消去してください。)
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。(録画予約は消去されます。)
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合は、視聴年齢が制限された録画番組は本機の録画一覧に表示されません。
  EM「各種設定」➡「制限設定をする」➡「暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する」

お知らせ

- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- ネットワークの接続が途切れると録画を停止します。また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- 録画した番組は、字幕とデータ放送の表示ができない場合や本機以外で再生できない場合があります。
- 録画した番組は、番組の終わりが数秒間欠けることがあります。
- 視聴年齢が制限された録画番組の番組名と放送局名は、配信先の機器によっては、「*」で表示されることがあります。

録画についての補足説明

録画全般

■ 録画中に HDD／USB-HDD の残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

録画予約全般

予約録画があるときの本機の動き

▷ **予約開始時刻の直前になると**

- 本機の電源が「入」のとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を「切」にしても録画は中断されません。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま録画が実行されます。

▷ **予約終了時刻になると**

- 自動的に録画が終わります。

番組表を使った予約（番組検索、注目番組）

● 番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報（日によって変わることがあります）をもとにおこなうため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。

代理録画

■ 予約録画が実行できない状態でも、HDD が録画可能な状態であれば HDD に代理で録画します。（代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。）

■ 以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。（他にも代理録画される場合があります。）

▷ **USB-HDD に予約録画するときに**

- USB-HDD の残量時間が足りない
- 録画可能な USB-HDD が接続されていない

録画／ワンタッチタイマー録画と予約録画が重なったときは

すでに2番組同時録画中の場合は、録画を押した録画やワンタッチタイマー録画が予約録画の開始2分前に取り消されます。

（2 番組同時録画できる場合は、1 番組のみ取り消されます。）

視聴予約と予約録画が重なったときは

どちらも実行されます。ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。

ライブ配信と予約録画が重なったときは

2 番組同時録画中の場合は、ライブ配信はできません。また、ライブ配信中に予約録画が実行される場合は、ライブ配信を中断することがあります。

予約が重なったときは

予約を決定するときに確認画面が表示されます。

重なっている予約を確認するときは

● メッセージを確認し（番組表予約の場合は確認画面で **[はい]** を選んで）決定を押すと、**[予約一覧]** が表示されます。

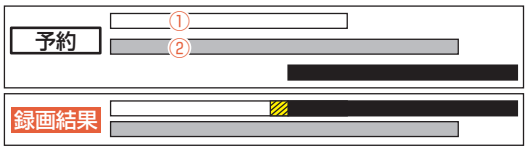
● 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には 重複 が付いて表示されています。

3 つ以上の予約が重なった場合は

● 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

※ の部分（約 20 秒）は録画されません。

● 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



※ の部分（約 20 秒）は録画されません。

① 予約一覧で上に表示されている番組

② 予約一覧で下に表示されている番組

同時録画できない場合は

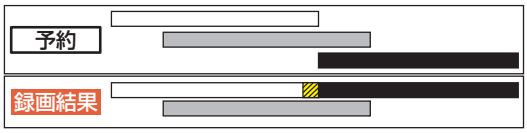
● 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

● 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。

● 前の予約の場合は、後の予約と重なる部分の手前約 20 秒以降は録画されません。（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む）

1 番目の予約の終了時刻と 3 番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ）の場合は、前の予約の終了時刻の手前約 20 秒は録画されません。



※ の部分（約 20 秒）は録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理をおこないます。
- 停電によって予約録画が中断したときは、予約一覧でお知らせします。P.54

録画の種類別では

▷ ワンタッチタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後は電源が切れます。

▷ 予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。

▷ 予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

録画先では

▷ HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD

- 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、**[すべての初期化]**が必要となることがあります。P.81
- USB-HDD への予約録画中に停電があった場合は、接続機器によって停電復帰後の予約録画の続きが HDD に代理録画されることがあります。

予約録画が正常におこなわれなかったときは

■ 録画予約の重なりや停電などの要因で録画が正常におこなわれなかった予約は、**[予約結果のお知らせ]**フォルダーにまとめられます。予約一覧で、**[予約結果のお知らせ]**フォルダー内の番組を選んで決定を押すとお知らせ内容が表示されます。**[戻る]**を選ぶと、そのまま確認画面に戻り、**[お知らせ消去]**を選ぶと予約のお知らせが一覧から消去されます。

■ 複数の予約のお知らせを消去するには、**[予約結果のお知らせ]**フォルダーで黄を押してから消去したい番組を選んで決定を押します。選んだ番組に[✓]がつくので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▶ で**[決定]**を選んで決定を押します。確認画面が表示されるので**[はい]**を選んで決定を押してください。（予約一覧の表示方法については、「設定済みの録画予約を確認する」をご覧ください。）P.54

■ **[予約結果のお知らせ]**フォルダーにまとめられる番組は、最大 30 件です。30 件をこえた場合は、古い番組から順に消去されます。

お知らせ

- 最大記録可能数／登録数については、「仕様」をご覧ください。P.85

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。

  （例）
  - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
  - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
  - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
  - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
- 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1 回だけの録画の場合は 3 時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各 3 時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。

  （例）
  - 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK E テレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
  - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」の例に従って録画されます。P.58
  - 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合のみ有効となります。

録画した番組を再生する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

本機では HDD／USB-HDD に録画した番組を再生することができます。

- 本機で SeeQVault-HDD として初期化、録画した番組は当社製 SeeQVault 対応機器のみで再生できます。
- 本機で記録した USB-HDD は、他の機器では再生できません。
- HDD や USB-HDD のフォルダーにある番組を消去する場合は、「フォルダーを消去する」をご覧ください。
  EM「消去する／編集する」➡「番組をフォルダーで管理する」➡「フォルダーを消去する」
  また、再生した番組を編集する場合は、「本機でできる消去と編集について」をご覧ください。
  EM「消去する／編集する」➡「番組消去や番組編集の前に」➡「本機でできる消去と編集について」

▶ 準備

- USB-HDD を再生するときは、USB 1 通常録画（HDD 用）端子に USB-HDD または SeeQVault-HDD をつないでおく P.68

ホーム からでも操作OK!!

1 録画一覧 を押す

2 HDD または USB-HDD を選んで 決定 を押す

- フォルダー画面が表示されたときは、見たい番組が入ったフォルダーを選んで 決定 を押してください。

3 見たい番組を選ぶ

4 再生 または 決定 を押す

再生中に番組内容を見る

サブメニュー を押して、番組内容を選んで 決定 を押す

- 番組内容が表示されます。

再生を一時停止する

一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生 または、一時停止 を押すと再生に戻ります。

再生を停止する

停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。（レジュームポイントが記憶されます。）
- レジュームポイントを解除するには、録画一覧が表示されていない状態で停止中にもう一度 停止 を押してください。ただし、HDD と USB-HDD の番組ごとのレジュームポイントは解除しません。

▷ 録画中の番組を再生するには

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

くわしくは EM「再生する」➡「再生するときの操作」➡「追っかけ再生（録画中の番組を最初から見る）」をご覧ください。

▷ おすすめ再生で見るには

おすすめ再生とは、お好みの番組を HDD や USB-HDD に録画またはダビングした番組の中からかんたんに探し出し、まとめて再生できる機能のことです。

くわしくは EM「再生する」➡「おすすめ再生をする」をご覧ください。

録画一覧（録画した番組の一覧）について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。
録画一覧では、録画された番組が並ぶ「番組一覧」を表示します。また、ジャンルやお好みの名前で作成したフォルダーに番組がまとめられた「フォルダー画面」に切り換えることもできます。

録画一覧を表示する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 録画一覧 を押す

2 HDD または USB-HDD を選んで 決定 を押す

- 録画一覧 を押すと、放送画面に戻ります。

録画一覧の見かた

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

ご注意
- メディアによって録画一覧の表示は異なります。以下は、「すべて」フォルダー内の番組一覧の表示例になります。

① サムネイル（番組の冒頭画面）
② 番組の種類
　おまかせ：おまかせ録画された番組
　NEW：未再生の番組
　🔒：保護された番組
　録画：録画中の番組
　録画が終わると 録画 が NEW になります。
　再生すると おまかせ と NEW は消えます。
③ 操作中のメディア
④ フォルダーの名前
⑤ 選択中の番組
⑥ 番組並び順の種類
⑦ 残量
　（残量が 20GB 以下になると赤字に変わります。）
⑧ 番組総時間
⑨ ガイド表示
　青 を押すと、HDD と USB-HDD の切り換えができます。
　赤 を押すと、並び順を「番組一覧」か「フォルダー画面」に切り換えできます。
⑩ 操作ガイド
⑪ 開始時間

再生するときの操作

▶ 準備

- USB-HDD を再生するときは、USB 1 通常録画(HDD 用)端子に USB-HDD または SeeQVault-HDD をつないでおく P.68

速度を変えて再生する

1 段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。
ゆっくりと番組を視聴する時間がないときに便利です。

早戻し／早送り(早く見る／聞く)

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

再生中に早戻し・早送りを押す

- 押すたびに再生速度を 4 段階で切り換えます。1 段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。
- 再生を押すと通常の再生速度に戻ります。

早見早聞／ゆっくり(音声付きで早く／ゆっくり見る)

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

再生中に再生を押す

- 押すたびに約 1.3 倍速→約 0.8 倍速→通常再生と切り換わります。

再生を一時停止する

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

再生中に一時停止を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生または一時停止を押すと再生に戻ります。

スロー再生(ゆっくり見る)

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

再生一時停止中に早送りを押す

- 押すたびに再生速度を 2 段階で切り換えます。
- 再生を押すと通常再生に、一時停止を押すと再生一時停止に戻ります。

コマ送り(コマを進める)

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

再生一時停止中にスキップを押す

- 押すたびにコマが進みます。

スキップ・頭出し（見たい番組や場面までとばす）

スキップ（見たい／聞きたいところまでスキップ・頭出しする）

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

再生中に スキップ・スキップ を押す

- 押すたびに、前または次のチャプターにスキップ・頭出しします。（スキップ を 1 回だけ押すと、現在再生中のチャプターにスキップ・頭出しします。）

スキップ・リプレイ操作

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

再生中に ◀・▶ を押す

- 押すたびに、設定した飛び幅でスキップ・リプレイします。
- ホーム ➡ 設定 ➡ 機能設定 ➡ 録画／再生設定 ➡ スキップ・リプレイ操作で 1/10、1/20、1/30 の飛び幅を選択することができます。

ご注意
- 番組の長さが 1 分以下の場合はスキップできません。

10 秒戻し／30 秒スキップ

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

再生中に 10秒戻し・30秒スキップ を押す

- 押すたびに、設定した時間だけ再生がスキップします。
- ホーム ➡ 設定 ➡ 機能設定 ➡ 録画／再生設定 ➡ 10 秒戻しボタン 時間変更および 30 秒スキップボタン 時間変更で時間を選択することができます。

サーチ（番組やチャプター、時間などを指定してスキップする）

1 再生中に サブメニュー を押して、サーチ を選んで 決定 を押す

2 お好みのサーチを選ぶ

- ▲・▼ を押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- サーチの種類は再生しているメディアによって異なります。

3 数字の入力欄へ移動して、▲・▼ または 1 ～ 10/0 で数値を変更し 決定 を押す

- 指定した番号または時間まで再生がスキップされます。

▷ 入力を間違えたときは

◀ を押す

ご注意
- 指定した番号や時間のチャプターやトラックがないときはスキップはできません。

お知らせ
- 再生中に 1 ～ 10/0 を押してチャプターをスキップすることもできます。（音楽ファイルや写真ファイルの再生をのぞく）

番組を消去する

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。
- HDD や USB-HDD の場合は、フォルダーの中に番組が入っています。

再生後やダビング予定のない不要な番組を消去し、HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD の空き容量を増やすことができます。

▶ 準備

- USB-HDD から消去するときは、USB 1 通常録画（HDD 用）端子に USB-HDD または SeeQVault-HDD をつないでおく P.68

録画一覧から不要な番組を消去する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

ホーム からでも操作OK!!

1 録画一覧 を押す

2 HDD または USB-HDD を選んで 決定 を押す

- フォルダー画面が表示されたときは、消去したい番組が入ったフォルダーを選んで 決定 を押してください。

3 消去したい番組を選んで 黄 を押す

▷ **番組を複数消去するには**

消去したい番組を選んで 決定 を押す

- ▲・▼ で消去したい番組をすべて選んでください。
- 選んだ番組に[✓]が付きます。
- 緑 を押すと、すべての番組に[✓]が付きます。
- 黄 を押すと、[✓]がすべて解除されます。
- サブメニュー を押して番組消去を選んで操作することもできます。

4 番組を選び終わったら、▶ を押して、消去実行を選んで 決定 を押す

5 確認メッセージが表示されるので、はいを選んで 決定 を押す

- 選択した番組が一括消去されます。

▷ **フォルダー画面で作成したフォルダーを選んでいるときは**

確認画面で消去方法を選んで 決定 を押してください。

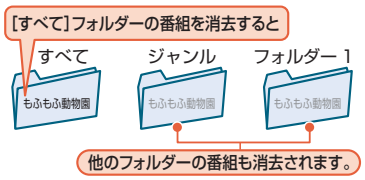
- このフォルダーから番組を消去を選ぶと、選んだフォルダー内の番組のみ消去し、**[すべて]**および**[ジャンル]**フォルダーの番組は残ります。
- すべてのフォルダーから番組を消去を選ぶと、本機から選んだ番組を完全に消去します。
- 消去が終わったら、戻る を押してください。

ご注意

- 録画中の番組は消去できません。
- ダビング中は番組を消去できません。

お知らせ

- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダーの番組を消去すると別のフォルダー内に入っている番組もまとめて消去します。
- **[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダーの番組を消去すると、残量時間が増えます。



HDMI-CEC 対応機器を操作する

HDMI 機器連動機能とは、HDMI で規格化されている AV アンプやレコーダーなどを制御するための機能で、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）規格に準拠した機器間を HDMI ケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

HDMI-CEC に対応した AV アンプやレコーダーを本機の HDMI 入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作（再生など）ができます。
HDMI-CEC 対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。（仕様は予告なく変更することがあります。）

▷ 本機で HDMI-CEC 機能を使うには

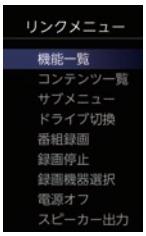
本　機 …**[ホーム]** ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[接続機器設定]** ➡ **[HDMI 機器連動]**を**[入]**に設定しておいてください。くわしくは「HDMI-CEC を設定する」をご覧ください。P.75

接続機器 …接続機器側の HDMI-CEC 設定を**[入]**にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI-CEC 対応機器の操作のしかた

1 リンク を押す

2 操作したい項目を選んで 決定 を押す



▷ リンクメニューについて

- **機能一覧**
  接続機器の設定などをおこなう画面を表示します。
- **コンテンツ一覧**
  レコーダーの録画一覧を表示します。
  EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「デジタル放送を一発録画で録る」➡「コンテンツ一覧を表示する」
- **サブメニュー**
  接続機器の「サブメニュー画面」などを表示します。
  ※接続機器によっては、操作ができない場合があります。
- **ドライブ切換**
  接続機器が複数の記録媒体を持つ場合は、再生や録画をする媒体を切り換えます。
- **番組録画**
  視聴中のデジタル放送を今すぐ録画開始します。
  EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「デジタル放送を一発録画で録る」
- **録画停止**
  一発録画を停止します。
  EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「デジタル放送を一発録画で録る」➡「録画を停止したいときは」
- **録画機器選択**
  録画する録画先のレコーダーを選択します。
- **電源オフ**
  本機のリモコンで接続機器の電源を切ります。
  EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「接続機器の電源を切る」
- **スピーカー出力**
  本機のリモコンで、対応する AV アンプの音量を調節できます。
  EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC 対応機器を操作する」➡「HDMI-CEC 対応アンプの音量を調節する」

USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続・設定する

USB-HDD ってどんな機器？

HDD と同じように、受信した番組を録画したり再生したりすることができます。
USB-HDD をご使用になる際は、以下をお読みになり十分ご理解いただいた上でご使用ください。

▷ USB-HDD で使える機能

- 登録した USB-HDD は、HDD と同じようにお使いいただけます。
  操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

ご注意

- 本機への登録を解除した USB-HDD は録画も再生もできなくなります。登録を解除した USB-HDD をもう一度本機に登録する場合も、本機専用方式で初期化しますので番組はすべて消去されます。登録を解除する USB-HDD は、間違えないように注意してください。

SeeQVault-HDD ってどんな機器？

SeeQVault-HDD を使用すれば、本機で録画した番組をバックアップ用に記録できます。（バックアップ用に記録したダビング 10 番組は、バックアップ先ではコピーワンス（1 回だけ録画可能）番組になります。）

万一、本機が故障した場合は、内蔵 HDD や USB-HDD に録画された番組は失われますが、SeeQVault-HDD へ記録した番組は本機の修理後でも再生やダビングが可能になります。

また、本機能に対応した当社製の他の機器でも再生やダビングができます。（本機でバックアップ用に記録した番組を他社の SeeQVault 対応機器で再生やダビングをしたり、他社の SeeQVault 対応機種で記録した番組を本機で動作させたりすることを保証するものではありません。）

初期化していない SeeQVault-HDD を本機に接続した場合は、接続後に表示される確認画面で **[SeeQVault 用として他機でも使用する]** を選ぶ必要があります。P.69

USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ前に

- 本機には、内蔵 HDD が搭載されていますが、USB-HDD／SeeQVault-HDD を本機に接続して使用することもできます。内蔵 HDD と共通の録画についての補足説明に関しては、「録画についての補足説明」をご覧ください。P.58
- 本機に接続して番組の録画／再生が可能な USB-HDD／SeeQVault-HDD の最新情報や詳細は、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。
  また、USB ケーブルは USB-HDD／SeeQVault-HDD に付属のケーブルをご使用ください。
- バスパワー型の USB-HDD／SeeQVault-HDD は動作保証外です。セルフパワー型の USB-HDD／SeeQVault-HDD をご使用ください。
  - バスパワー型とは USB ケーブルから電源が供給されるタイプです。
  - セルフパワー型は専用の AC アダプターから電源が供給されるタイプになります。
- USB 1 通常録画（HDD 用）端子には、デジタル放送録画用 USB 機器以外のものを接続しないでください。
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していた USB-HDD／SeeQVault-HDD を本機に接続して USB-HDD／SeeQVault-HDD として登録すると、本機専用の方式で初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していた USB-HDD／SeeQVault-HDD をパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。

- USB-HDD／SeeQVault-HDD の動作中は、USB-HDD／SeeQVault-HDD の電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機および内蔵 HDD または USB-HDD／SeeQVault-HDD が故障したりする原因となります。
- USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続する USB 1 通常録画（HDD 用）端子は USB2.0 準拠で USB ハブ対応です。USB 2 メディア再生（USB メモリー用）端子は USB2.0 準拠で USB ハブ非対応です。
- 本機と USB-HDD／SeeQVault-HDD または USB ハブを接続するときは、本機と USB-HDD／SeeQVault-HDD（セルフパワー型のみ）または USB ハブの電源を必ず「切」にしてください。
  [クイック起動]を設定している場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。
  EM「各種設定」➡「その他の設定をする」➡「クイック起動を設定する」
  電源を「切」にしたあと、本機前面の LED がすべて消灯していることを確認してください。
- 通常録画用として登録した USB-HDD／SeeQVault-HDD に録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の当社製テレビ（同じ型番のテレビも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。
- USB-HDD をお使いになるには、本機に登録 P.69 が必要です。
  登録の際、USB-HDD に保存されたデータはすべて消去されます。
- USB-HDD は非常に精密な機器です。丁寧にお取り扱いください。
- USB-HDD は録画内容の恒久的な保管場所ではありません。
- USB-HDD に付属の取扱説明書をご覧ください。

USB-HDD／SeeQVault-HDD を録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。万一録画内容が失われましても当社は補償いたしません。
大切な番組の録画には、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーなど、他の機器にも録画することをおすすめします。

- USB-HDD に異常が発生した場合は、USB-HDD の録画内容は失われます。
- USB-HDD は、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合は、数年で寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合は、USB-HDD の寿命が近づいています。
  - 再生できない、再生と一時停止を繰り返す
  - 映像が乱れる
  - ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する

- 本機で録画した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では視聴できません。万一本機が故障し主要な部品を取り換えたり、本機を交換したりした場合でも、USB-HDD に録画した番組は見られなくなりますのでご了承ください。
- 万一何らかの不具合により正常に録画されなかった場合や、録画内容を正常に再生できなくなった場合などの録画内容の補償はできません。

ご注意

- USB-HDD／SeeQVault-HDD は８台まで本機に登録できます。
- USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ場合は、USB ハブを使うと 4 台まで同時に接続可能です。

次ページへつづく

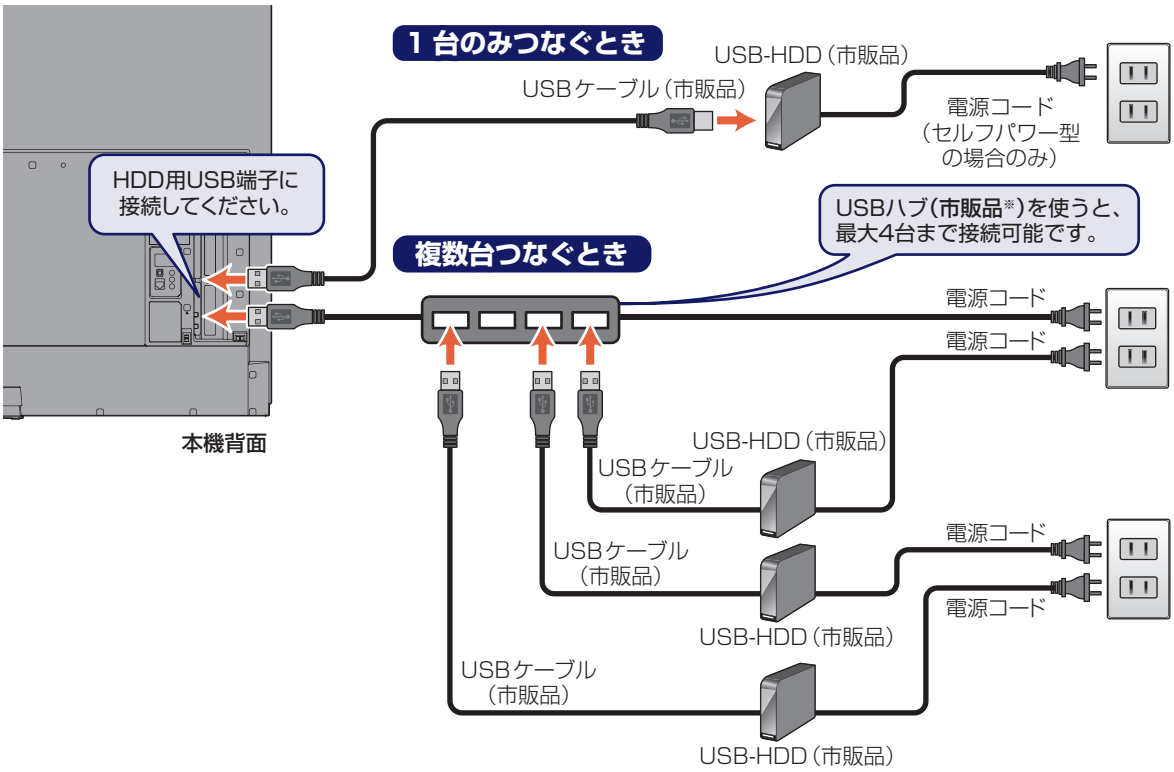
USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ

▷ USB ハブを使うときは

- USB ハブを使うときに接続する USB-HDD／SeeQVault-HDD は、AC アダプターを使用するセルフパワー型をおすすめします。（バスパワー型を USB ハブに接続したとき、製品供給電力をこえる場合は動作しません。）P.66
- USB ハブに使用する AC アダプターは、専用の AC アダプターをご使用ください。
- USB-HDD／SeeQVault-HDD 名や接続場所などを特定しやすくするために、登録や初期化の処理を 1 台ずつ接続しておこなうことをおすすめします。
- USB ハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのような USB ハブで接続したときは、本機が USB-HDD／SeeQVault-HDD を認識しない場合があります。

USB-HDD／SeeQVault-HDD をつなぐ

■ USB-HDD／SeeQVault-HDD は必ず HDD 用 USB 端子に接続してください。
■ USB-HDD／SeeQVault-HDD が電源付きの場合は、本機の電源より先に USB-HDD の電源を入れてください。



※セルフパワー型の USB ハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

次のようなことはおこなわないでください。

■ USB 機器の動作中に、USB メモリーや USB-HDD の接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。
■ USB 機器の動作中に、USB-HDD や本機の電源を切らない。

USB 機器の故障やデータが消失する恐れがあります。

USB-HDD は、USB-HDD に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

■ 5GHz 帯に対応した無線 LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz 帯でのご使用をおすすめします。2.4GHz 帯の設定では他の 2.4GHz 帯の機器との干渉により、無線 LAN の通信が途切れることがあります。

▷ 通常録画用 USB-HDD を接続したあとは

- 本機に USB-HDD を通常録画用として登録してください。
  (本機に登録されていない USB-HDD はお使いになれません。)
- 未登録の USB-HDD を接続すると、登録設定の確認画面が表示されますので、**[はい]**を選んで決定を押してください。

  そのあと、「USB-HDD を通常録画用として登録する」の手順 3 に進んでください。

  EM 「外部機器を使う」➡「USB-HDD/SeeQVault-HDD を接続・設定する」➡「USB-HDD を通常録画用として登録する」

▷ SeeQVault-HDD を接続したあとは

- 当社製の SeeQVault 対応機器で、SeeQVault-HDD として登録するなど他機種での使用も想定して使用していた SeeQVault-HDD は、そのまま本機で使用できます。
- 他社の SeeQVault 対応機器で使用していた SeeQVault-HDD は、本機で使用できない場合があります。初期化をおこなうと使用できる場合がありますが、他社の SeeQVault 対応機器で記録した番組がすべて消去されますので、消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。
- 初期化していない SeeQVault-HDD を接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
- SeeQVault-HDD として使用する場合は、**[SeeQVault 用として他機でも使用する]**を選んで決定を押してください。

  そのあと、「SeeQVault-HDD を初期化する」の手順 3 に進んでください。

  EM 「外部機器を使う」➡「USB-HDD/SeeQVault-HDD を接続・設定する」➡「SeeQVault-HDD を初期化する」
- 通常録画用として使用する場合は、**[通常録画用として登録する]**を選んで決定を押してください。

  そのあと、「USB-HDD を通常録画用として登録する」の手順 3 に進んでください。

  EM 「外部機器を使う」➡「USB-HDD/SeeQVault-HDD を接続・設定する」➡「USB-HDD を通常録画用として登録する」

通常録画用として登録すると、本機でのみ再生や録画が可能となります。

▷ USB-HDD または USB ハブを取りはずすには

セルフパワー型の USB-HDD または USB ハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてから USB-HDD または USB ハブの電源を「切」にして取りはずしてください。

▷ SeeQVault-HDD を取りはずすには

SeeQVault-HDD を本機から取りはずすときは、必ず**[メディア管理]**の**[SeeQVault-HDD の取り外し]**を実行してから取りはずしてください。

お知らせ

- USB 1 通常録画(HDD 用)端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB 機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 登録可能な USB-HDD を接続しても登録設定の確認画面が表示されなかった場合は、**[ホーム]**➡**[設定]**➡**[機能設定]**➡**[接続機器設定]**➡**[メディア管理]**➡**[USB-HDD メニュー]**から**[通常録画用]**➡**[USB-HDD 登録設定]**を選んで登録してください。

ネットワークを接続する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続方法が異なります。
以下を確認しながら正しく接続してください。

LANケーブルを使って接続する

チューナーを使って録画したい（LAN録画）

CATV（ケーブルテレビ）チューナーまたはスカパー！プレミアムサービスチューナーからの映像をハイビジョンで録画やダビングできます。

▷**必要な設定**

EM「各種設定」➡「ネットワークを接続･設定する」➡「機器連携設定」

他機を使ってダビングしたい

録画した番組をレコーダーから本機にダビングできます。

▷**必要な設定**

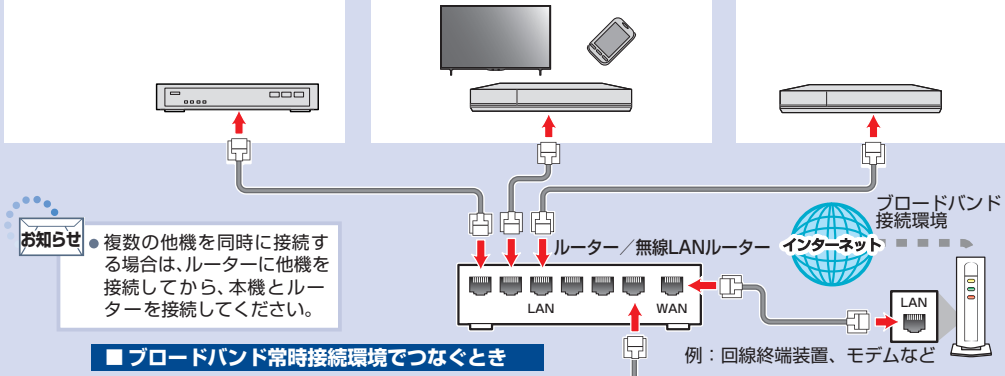
EM「各種設定」➡「ネットワークを接続･設定する」➡「機器連携設定」

他機の映像などを再生したい

他機の映像などを本機で再生できます。

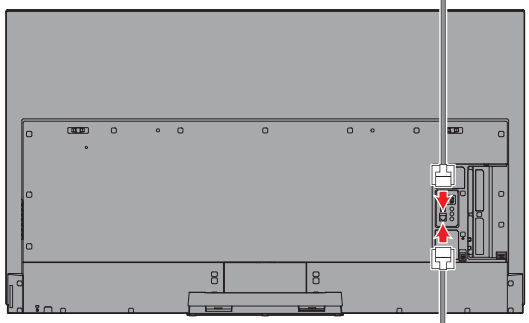
▷**必要な設定**

EM「各種設定」➡「ネットワークを接続･設定する」➡「機器連携設定」



■ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき

本機背面

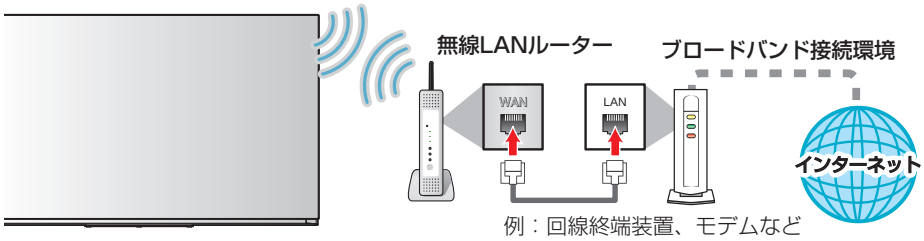


■本機と他機をLANケーブルで直接つなぐとき

ブロードバンド常時接続環境がない場合は、
本機と他機をLANケーブルで直接つないでください。

無線LANを使って接続する

無線 LAN を使うと、LAN ケーブルを使わずにネットワークに接続できます。



※2.4GHz 帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線 LAN の通信が途切れることがあります。

※2.4GHz 帯の無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、無線 LAN 通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USB ハブおよび USB ケーブルは本機の近くには設置せず、本機に内蔵の無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して配置してください。

※5GHz 帯に対応した無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz 帯でのご使用をおすすめします。

▷ ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。
- 本機は、公衆無線 LAN 接続には対応していません。
- 11ac または 11n 方式での接続を推奨します。通信速度が十分でない場合は、動画配信サービスやホームネットワークの映像が途切れることがあります。
- FUNAI Connect に必要な動作環境
- FUNAI Connect Android 版、FUNAI Connect iOS 版が動作するスマートフォン・タブレット動作環境に関しては、当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

▷ 用語と商標について

- Android は、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。
  すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会 IEEE802.3 に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。
  すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器（ADSL モデムなど）に、1000Base-T ／ 100Base-TX ／ 10Base-T の LAN ポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 使用制限のされていない無線 LAN ネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品の LAN ケーブル（ストレート）をご用意ください。

次ページへつづく

▷ 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▷ すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。
- ADSL 回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
  - USB 接続の ADSL モデムなどをお使いの場合は、ADSL 事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSL の接続については専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

▷ ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ご注意

- LAN ケーブルは、カテゴリー 5e 以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

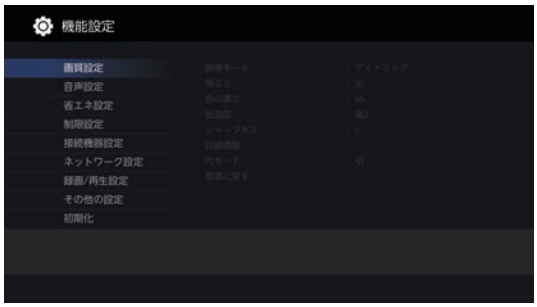
- LAN 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機の MAC アドレスが必要な場合は、ホーム ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[ネットワーク設定]** ➡ **[接続確認]** で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

機能設定をする

いろいろな機能を使うための設定をします。

機能設定の表示のしかた

ホーム を押して、設定 ➡ 機能設定 を選んで 決定 を押す



お知らせ

- 本書に記載の設定は一部抜粋です。
  設定についてくわしくは EM「各種設定」をご覧ください。

▷ 画質設定について

画質をお好みの設定にしたいときに調整します。

① ホーム を押して、設定 ➡ 機能設定 ➡ 画質設定 を選んで 決定 を押す

② 設定項目を選んで 決定 を押す

- 「詳細調整」についてくわしくは EM「各種設定」➡「画質設定をする」➡「映像モード」をご覧ください。

■ **映像モード**

ダイナミック	色鮮やかでコントラストを強調した映像モードです。 明るい環境での視聴やスポーツ鑑賞にも適しています。
スタンダード	消費電力を抑制した標準的な画質の映像モードです。
ナチュラル	自然な画質の映像モードです。 ご家庭での視聴や、ホームビデオや写真鑑賞にも適しています。
シネマ	映画鑑賞に最適な映像モードです。
ドラマ	ドラマ、時代劇鑑賞に最適な映像モードです。
ゲーム	ゲームに最適な映像モードです。
ドルビービジョンダーク／ ドルビービジョンブライト	映像を高画質に出力するモードです。 再生するコンテンツによっては利用が可能です。

次ページへつづく

■ 明るさ／色の濃さ／色温度／シャープネス

明るさ	画面全体の明るさを**[0]**～**[30]**の値で調整します。 設定値を下げることで消費電力も下がります。
色の濃さ	色の濃淡を**[0]**～**[100]**の値で調整します。 自然な色にするときは、やや薄めに設定します。
色温度	色調を**[低]**、**[中]**、**[高 1]**、**[高 2]**の値で調整します。 「低」にするほど温かみのある色調となり、「高」にするほど明るく活動的な色調となります。 上記に加え、ユーザーの設定が可能です。詳細調整➡色彩調整➡色温度➡詳細調整の各値が反映されます。
シャープネス	映像のくっきり感を**[0]**～**[10]**の値で調整します。 設定値を上げるとメリハリのある映像、設定値を下げるとやわらかい映像になります。

■ PC モード

入	PC 信号に最適な設定を提供します。現在の入力が PC と接続している場合は**[入]**に設定してください。
切	現在の入力が PC と接続していない場合は**[切]**に設定してください。

■ 標準に戻す

はい	選択中の映像モードの設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。
いいえ	各項目の設定値を保持します。

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

▷ 省エネ設定について

いろいろな節電の設定をします。

① **ホームを押して、設定➡機能設定➡省エネ設定を選んで決定を押す**

② **設定項目を選んで決定を押す**

ECO モード	**[入]**で、画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。
無操作電源オフ	**[入]**で、テレビの消し忘れを防ぎます。約 3 時間テレビを操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。
無信号電源オフ	**[入]**で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約 10 分経つと、自動的に電源が切れます。
明るさセンサー	**[入]**で、お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も節約します。

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

お知らせ

- ドルビービジョン信号受信時に、**[明るさセンサー]**は**[切]**に設定されます。
- **[明るさセンサー]**を**[入]**に設定しているときは、部屋の照明が安定し、明るさセンサー受光部が遮断されていないことをご確認ください。P.16
- **[無操作電源オフ]**が**[入]**では、電源が切れる 1 分前から**[無操作自動オフ 1 分前]**と表示されます。
  引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。
- **[無信号電源オフ]**が**[入]**では、電源が切れる 1 分前から**[無信号自動オフ 1 分前]**と表示されます。

接続機器設定をする

HDMI-CEC を設定する

1 ホーム を押して、設定 ➡ 機能設定 ➡ 接続機器設定 を選んで 決定 を押す

2 設定項目を選んで 決定 を押す

HDMI 機器連動	HDMI-CEC 対応機器を接続したときは**[入]**を選んでください。
HDMI 機器の自動電源オフ	**[入]**で、テレビの電源を「切」にすると、HDMI-CEC 対応機器の電源も連動して「切」になります。
テレビの自動電源オン	**[入]**で、HDMI-CEC 対応機器の電源を「入」にすると、テレビの電源も連動して「入」になります。
テレビリモコンの操作対象	**[HDMI 機器優先]**で、リモコンで操作したときに HDMI-CEC 対応機器側の操作を優先します。 **[テレビ優先]**で、リモコンで操作したときに HDMI-CEC 対応機器側の操作をしません。

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。
- 設定を有効にするために、電源 を押して、電源を入れなおしてください。

お知らせ

- 本機の HDMI-CEC 機能を使用するには、接続された機器が HDMI-CEC に対応している必要があります。機器により仕様が異なる場合があります。くわしくは HDMI-CEC 対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル音声を ARC で出力するには、**[HDMI 機器連動]**を**[入]**にしてください。ARC を使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- HDMI-CEC 機能を中止するために**[HDMI 機器連動]**を**[切]**にした場合は、本機の電源を入れなおしてください。

HDMI 信号フォーマットを設定する

接続された HDMI 機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。

1 接続機器設定 を表示中に、HDMI 信号フォーマット を選んで 決定 を押す

2 HDMI 1 ～ HDMI 4 から設定を変更したい HDMI を選んで 決定 を押す

3 対応信号フォーマット または 入力レンジ を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ HDMI 信号フォーマットの種類

- **高画質**
  4K 対応機器から 4K 映像を高画質に出力するモードです。
- **通常**
  接続機器との互換性を優先します。

▷ 入力レンジの種類

- **自動／フルレンジ／リミテッドレンジ**
  HDMI 機器から出力する色階調レンジを設定します。
  通常は 自動 を選択してください。
  映像が正しく映らない場合は、フルレンジ または リミテッドレンジ に切り換えてください。

かんたん一括設定で再設定する

テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。

かんたん一括設定を表示する

1 ホーム を押して、設定 ➡ かんたん一括設定 を選んで 決定 を押す

2 「かんたん一括設定」をおこなう P.31

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは(地上デジタル放送のとき)」をご覧ください。P.90
- 以下の場合は、**[かんたん一括設定]**を設定できません。
  - 録画中
  - ダビング中

自己診断機能について

本機の主な機能の動作確認は、**[自己診断機能]**メニューで確認することができます。

自己診断機能を使う

1 ホーム を押して、設定を選んで 決定 を押す

2 自己診断機能を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 決定 を押してください。
- 自己診断機能の項目選択画面に進みます。

自己診断機能の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をしたり、USB 機器の情報を表示したりすることができます。

本体診断

本機の主な機能の診断をおこないます。

1 本体を選んで 決定 を押す

2 確認したい診断項目を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 決定 を押してください。
- 診断後、**[結果]**に**[詳細を確認してください。]**と表示された**[項目]**を確認する場合は、**[項目]**を選んで 青 を押すと表示される詳細画面で**[結果]**と**[対処方法]**をご確認ください。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 診断が終わったら、戻る を複数回押すと放送画面に戻ります。

▷ **全機能診断**

[本体]画面に表示されている**[項目]**すべての診断をおこないます。

- 診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。(最大約 12 分)

▷ **HDD**

本機に内蔵されている HDD の診断をおこないます。

▷ **チューナー(地デジ)**

地上デジタル用チューナーの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子を同軸ケーブルでつないでおく P.24
- miniB-CAS カードを挿入しておく P.23

■ 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CAS カードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

▷ **チューナー(BS／CS)**

BS／CS 用チューナーの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機の BS･110 度 CS 入力端子と、壁などのアンテナ端子を BS･110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブルでつないでおく P.24
- miniB-CAS カードを挿入しておく P.23

■ 本機とアンテナが正しく接続されていない場合や、miniB-CAS カードが挿入されていない場合は、正しく診断することができません。

次ページへつづく

▷ ネットワーク

ネットワークの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく P.70

■ **[通信設定]**を**[切]**に設定している場合は、正しく診断することができません。

▷ HDMI-CEC

HDMI-CEC の診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機と HDMI-CEC 対応機器をハイスピード対応 HDMI ケーブルでつないでおく P.27
- **[ホーム]** ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[接続機器設定]** ➡ **[HDMI 機器連動]**を**[入]**に設定しておく P.75

■ 以下の場合は、正しく診断することができません。

- 接続機器が HDMI-CEC に対応していない場合
- 本機と接続機器が HDMI ケーブルで接続されていない場合
- 接続機器側の HDMI-CEC 設定が有効になっていない場合

ご注意

- HDMI ケーブルは付属しておりません。市販品の HDMI ケーブルをご準備ください。

▷ USB-HDD

USB-HDD の診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機背面の USB 1 通常録画(HDD 用)端子に USB-HDD をつないでおく P.68
- USB-HDD を本機に登録しておく
  EM「外部機器を使う」➡「USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続･設定する」➡「USB-HDD を通常録画用として登録する」

■ 本機と USB-HDD が接続されていない場合は、正しく診断することができません。

■ USB-HDD が本機に登録されていない場合は、そのまま診断をおこなうと**[結果]**に**[詳細を確認してください。]**と表示されます。
その結果が表示された**[USB-HDD]**を選んだまま 青 を押して、詳細画面で 停止 を押すと仮登録をおこない、診断のみおこなうことができます。

ご注意

- 仮登録をおこなうと、USB-HDD が初期化されるのでご注意ください。

▷ USB メモリー

USB メモリーの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機側面の USB 2 メディア再生(USB メモリー用)端子に USB メモリーを接続しておく
  EM「外部機器を使う」➡「ホームネットワーク上の機器や USB メモリーのファイルを表示する」

■ 本機と USB メモリーが接続されていない場合は、正しく診断することができません。

▷ 宅外操作環境

宅外機器への接続が可能か診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく P.70

放送チャンネル

現在の地上デジタル放送の受信チャンネル状況を表示します。

放送チャンネルを選んで 決定 を押す

- スキャン完了後、チャンネル情報が検出されます。
- アンテナレベルが低いチャンネルなど、個別に受信状態を確認したい場合は、チャンネルを選んで 決定 を押すと、受信状態の確認画面が表示されます。(アンテナの調整についてくわしくは EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」をご覧ください。)
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、戻る を複数回押すと放送画面に戻ります。

USB-HDD

USB-HDD の情報を表示します。

▶ 準備

- 本機背面の USB 1 通常録画(HDD 用)端子に USB-HDD をつないでおく P.68
- USB-HDD を本機で登録または初期化しておく
  EM「外部機器を使う」➡「USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続･設定する」➡「USB-HDD を通常録画用として登録する」、「SeeQVault-HDD を初期化する」
  (すでに当社製の SeeQVault 対応機器で使用していた SeeQVault-HDD の情報を表示する場合は、初期化する必要はありません。)

1 USB-HDD を選んで決定を押す

2 開始が選ばれているので決定を押す

- 読み込み完了後、USB-HDD 情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、戻る を複数回押すと放送画面に戻ります。

USB メモリー

本機側面の USB 2 メディア再生(USB メモリー用)端子に接続している USB メモリーの情報を表示します。

▶ 準備

- 本機側面の USB 2 メディア再生(USB メモリー用)端子に USB メモリーを接続しておく
  EM「外部機器を使う」➡「ホームネットワーク上の機器や USB メモリーのファイルを表示する」

1 USB メモリーを選んで決定を押す

2 開始が選ばれているので決定を押す

- 読み込み完了後、USB メモリー情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、戻る を複数回押すと放送画面に戻ります。

宅外操作環境

宅外機器への接続が可能か診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく P.70

宅外操作環境を選んで決定を押す

- 診断完了後、宅外操作環境の情報が表示されます。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、戻る を複数回押すと放送画面に戻ります。

ご注意

- **[自己診断機能]**では、すべての故障を診断できるわけではありません。

ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう

ネットワークを利用して、当社サーバーからソフトウェアをダウンロードします。

1 ホームを押して、設定➡機能設定➡その他の設定➡本機の情報と更新を選んで決定を押す

2 ネットワークによる更新を選んで決定を押す

3 新しいバージョンのソフトウェアがある場合は、確認画面が表示されるので、更新する(推奨)➡はいを選んで決定を押す

- ネットワークを利用して当社サーバーからソフトウェアをダウンロードします。

4 確認画面が表示されるので、はいを選んで決定を押す

- ダウンロード完了後、自動的にソフトウェア更新をおこないます。

ご注意

- 以下の場合は、ソフトウェアをダウンロードできません。
  - 録画中
  - ダビング中
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。

お知らせ

- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- 無線 LAN でネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線 LAN での接続をおすすめします。

設定を初期化する

本機の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ホームを押して、設定➡機能設定を選んで決定を押す

2 初期化を選んで決定を押す

3 すべての初期化を選んで決定を押す

- 暗証番号入力画面が表示された場合は、1～10/0 で**[視聴年齢制限]**や**[ネットアプリ使用制限]**で登録した暗証番号の入力が必要です。
- 項目を選んで初期化することもできます。EM「各種設定」➡「設定を初期化する」➡「一部の設定を初期化する」

4 はいを選んで決定を押す

- この手順ではいを選んでも、すぐに初期化は始まりません。手順 5 で初期化の種類を選んでください。

5 初期化の種類を選んで決定を押す

はい	すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。 HDD の録画番組はすべて消去されます。USB-HDD の登録情報「USB-HDD を通常録画用として登録する」も初期化(消去)されます。登録情報を初期化すると登録済みの USB-HDD 内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。 EM「外部機器を使う」➡「USB-HDD／SeeQVault-HDD を接続・設定する」➡「USB-HDD を通常録画用として登録する」
いいえ	HDD ／ USB-HDD の初期化はせずに、お買い上げ時の状態に戻すときに選びます。
戻る	初期化しないときに選びます。

- 初期化が始まります。

6 初期化が完了したら、電源を押す

- 約 1 分で初期化が完了します。
- 初期化が完了したら、自動的に再起動し、「かんたん一括設定」が始まります。

ご注意

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[すべての初期化]**をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 録画中やダビング中の場合は、**[すべての初期化]**、**[機能設定初期化]**、**[ネットワーク設定初期化]**および**[宅外機器の登録初期化]**はおこなえません。

本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報、デジタル著作権管理に関する権利情報などを表示します。

1 ホームを押して、設定➡機能設定➡その他の設定➡本機の情報と更新を選んで決定を押す

2 表示させたい情報を選んで決定を押す

▷ **バージョン情報**

- **Software version**
  ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **Netflix version**
  Netflix のバージョンを表示します。
- **Netflix ESN**
  Netflix の ESN を表示します。

▷ **ライセンス情報**

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

▷ **デジタル著作権管理**

デジタル著作権管理に関する権利情報を表示します。

文字入力のしかた

- リモコンの青を押すたびに、文字種類の切り換えができます。
- 緑を押すと**[全角かな]**で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。
  それ以外のときは、すべての文字を確定させて文字入力を終了します。
- スキップ⏮を押すとカーソルが 1 文字左へ、スキップ⏭を押すとカーソルが 1 文字右へ移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときにスキップ⏭を押すと、半角スペースが入ります。
- 文字を入力していないときに早戻し◀◀を押すと入力の先頭へ、早送り▶▶を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
- ▲・▼で文字入力部にハイライトを移動した状態で、スキップ⏮を押すとカーソルが 1 文字左へ、スキップ⏭を押すとカーソルが 1 文字右へ移動して、決定を押すと入力が確定します。
- 文字入力に使うボタンと入力できる文字の種類は以下になります。
  また、▲・▼・◀・▶と決定で以下の文字を入力することもできます。

ボタン	文字の種類				
	全角かな	全角カナ	半角カナ	英字／記号	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｱｲｳｴｵ	ｱｲｳｴｵｱｲｳｴｵ	-	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	abc ／ ABC	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	def ／ DEF	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghi ／ GHI	4
゛5	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl ／ JKL	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno ／ MNO	6
7	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs ／ PQRS	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuv ／ TUV	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz ／ WXYZ	9
10/0	濁音／半濁音※1 全角記号※2	濁音／半濁音※1	濁音／半濁音※1	半角記号※3	0
11	わをんゎー、。 全角スペース	ワヲンヮー、。 全角スペース	ﾜﾜﾝｰ、。 半角スペース	半角スペース	半角スペース
12	番組記号※4	-	-	小文字／大文字	-
青	全角カナに 切り換え	半角カナに 切り換え	英字／記号に 切り換え	数字に切り換え	全角かなに 切り換え
早戻し	漢字に変換 前候補を表示 （漢字変換中）	-	-	全角／半角	全角／半角
早送り	次候補を表示 （漢字変換中）	-	-	全角／半角	全角／半角
黄	消去※5 変換取り消し （漢字変換中）	消去※5	消去※5	消去※5	消去※5
スキップ⏮	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動	1 文字左へ移動
スキップ⏭	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動	1 文字右へ移動

※1　押すたびに濁音（゛）、半濁音（゜）が切り換わります。
（例）か ➡ が ➡ か ➡ ･･･、は ➡ ば ➡ ぱ ➡ は ➡ ･･･

※2　押すたびに以下の順で切り換わります。
（文字を入力していない場合のみ）
．@－＿／：！゛＃＄％＆｀（）＊＋、；＜＝＞？［¥］＾｛｜｝～、。
【】「」●○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇒⇔→←♂♀℃※

※3　押すたびに以下の順で切り換わります。
. @ - _ ／ : ! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? [¥] ^ ` { | } ~

※4　押すたびに以下の順で切り換わります。
新 終 再 生 双 デ 字 手 S SS B 二 多 解 無 映

※5　黄を数秒間長押しすると、入力した文字をすべて消去します。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大 40 文字（半角は最大 80 文字）まで入力できます。
- 未確定文字は最大 9 文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

HDD／USB-HDDの記録内容を全部消去する

消去された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。

HDD　USB-HDD　SeeQVault-HDD

▶ **準備**

- USB-HDD を編集するときは、USB 1 通常録画(HDD 用)端子に USB-HDD または SeeQVault-HDD をつないでおく

1 **ホーム を押して、設定 ➡ 機能設定 ➡ 接続機器設定 ➡ メディア管理を選んで 決定 を押す**

- メディア選択画面が表示されます。

2 **お好みの項目を選んで 決定 を押す**

- HDD の番組を消去したい場合は、HDD メニューを選んでください。
- USB-HDD の番組を消去したい場合は、USB-HDD メニュー ➡ 通常録画用を選んでください。
- SeeQVault-HDD の番組を消去したい場合は、USB-HDD メニュー ➡ SeeQVault 用を選んでください。

3 **保護された番組も含めすべて消去したいときは番組全消去を選んで 決定 を押す**
保護された番組は残してそれ以外をすべて消去したいときは
番組全消去(保護番組以外)を選んで 決定 を押す

- USB-HDD の場合は、USB 1 通常録画(HDD 用)端子に USB ハブを経由して接続されている USB-HDD の一覧が表示されるので、番組を消去したい USB-HDD を選んで 決定 を押してください。
- 確認画面が表示されるので、はいを選んで 決定 を押してください。
- 番組の消去が実行されます。
- 番組の消去は、途中で中止できません。
- 番組の消去が始まると放送画面に戻ります。
- 番組全消去を選ぶと、**[すべて]**または**[ジャンル]**フォルダー以外のフォルダーおよびすべての番組が消去されます。
- 番組全消去(保護番組以外)を選ぶと、**[すべて]**、**[ジャンル]**または保護された番組が保存されたフォルダー以外のフォルダーおよび保護された番組以外のすべての番組が消去されます。

ご注意

- 以下の場合は、**[番組全消去]**や**[番組全消去(保護番組以外)]**はできません。
  - 録画中
  - ダビング中
  - ライブ配信中

仕様

仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

型番		FE-65U7010	FE-55U7010
種類		地上･BS･110 度 CS デジタル 有機 EL テレビ	
内蔵 HDD		1 TB(1,000 GB)	
電源		AC100 V　50 ／ 60 Hz	
消費電力		起動時: 480 W	起動時: 340 W
		待機時:0.4 W※	
受信機型サイズ		65 V	55 V
音声	実用最大出力 JEITA	15 W + 10 W + 15 W + 10 W (同時出力)	
	スピーカー	(11.1 cm × 2.7 cm + 7.3 cm × 7.3 cm)× 2	
アンテナ入力		UHF　1 軸　75 Ω 不平衡形	
BS･110 度 CS アンテナ入力		75 Ω 不平衡形(C15 形)兼コンバーター用電源(DC 15 V)出力	
受信チャンネル		地上デジタル: 000 ～999 ch　BS デジタル:000 ～999 ch 110 度 CS デジタル:000 ～999 ch	
表示画素数		3840 ドット × 2160 ライン	
有効表示領域		幅 142.8 × 高さ 80.3 ／ 対角 163.8 cm	幅 120.9 × 高さ 68.0 ／ 対角 138.7 cm
ヘッドホン出力端子		φ 3.5 ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子		(映像)1.0 V(p - p)　　75 Ω(同期負極性) (音声)150 mV(rms)　ハイインピーダンス	
HDMI 入力端子		4 系統　4 端子 ARC 対応(HDMI 1 入力端子のみ)	
LAN 端子		RJ-45　10BASE-T／100BASE-TX	
USB 端子		ハイスピード USB　Type A　DC 5 V(HDD 用) ハイスピード USB　Type A　DC 5 V(USB メモリー用)	
光デジタル音声 出力端子		1 系統　1 端子	
外形 寸法	スタンドあり	幅 144.9× 高さ 85.4× 奥行 26.7 cm	幅 122.8× 高さ 73.1× 奥行 26.7 cm
	スタンドなし	幅 144.9× 高さ 85× 奥行 4.6 cm	幅 122.8× 高さ 72.6× 奥行 4.6 cm
質量	スタンドあり	43.0 kg	33.5 kg
	スタンドなし	28.0 kg	22.0 kg
キャビネット材質		前:鉄、PS、PC/ABS、PC、アルミ　後:PC/ABS、鉄	
使用周囲温度		5 ℃～40 ℃	

リモコン	型番	FRM-105TV
	電源	DC 3 V　単 4 形乾電池 2 本
	質量	約 136 g(乾電池含む)
	操作範囲	左右各約 30°以内、上下約 15°以内

- テレビの V 型(65V 型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
  また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

※**[クイック起動]**を**[切]**に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の設定をしているときは更に消費電力が増加します。

- **[クイック起動]**を**[入]**に設定しているとき
- 本機で受信したデジタル放送を HDD や USB-HDD で録画しているとき
- BS・110 度 CS アンテナへの電源供給を本機からおこなうために、**[アンテナ電源]**を**[供給する]**に設定しているとき

最大記録可能数／登録数／文字数について

上限をこえる場合は、メッセージが表示されます。

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	メディア	
	HDD　USB-HDD	SeeQVault -HDD
番組数	2,000	2,000
チャプター数 (1 つの番組内)	999	99
作成できるフォルダー数	99	99
チャプター数 (メディア内)	上限なし	上限なし
メディア名の文字数	全角 40 文字※1	全角 40 文字
番組名の文字数	全角 40 文字	全角 40 文字

- 視聴予約数※2　最大 20 件
- 録画予約数※2　最大 200 件
- ダビングリストの番組登録数　36
- 1 番組あたりの連続録画可能時間　15 時間

※1　HDD のメディア名は変更できません。

※2　例えば、視聴予約の登録が 20 件に到達している場合は、録画予約数は 180 件まで予約可能となります。
録画予約数が 200 件に到達している場合は、視聴予約はできません。
また、**[ワンタッチ録画の終了方法]**で**[番組が終わるまで]**を選択して録画しているときも録画予約件数に含まれます。

お知らせ

- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■ 保証書(梱包箱に貼り付けしています)について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)の「修理規約」も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社のお客様サポートサイト(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後 8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

※この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(外部機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となります。
  なお、交換後の製品は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- **お名前**
- **ご住所**
- **電話番号**
- **お買い上げ製品の型番**
  (この取扱説明書または保証書に記載)
- **お買い上げ製品の製造番号**
  (保証書または本機背面のラベルに記載)
- **お買い上げ日**
- **症状**(故障または不具合の内容)
  「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2018 年 4 月現在)

症状診断シート

本機の故障･不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下［　　］の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

全情報の初期化： 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になったりする場合があります。

全情報の初期化をおこなうと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USB メモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB 機器※や内蔵ハードディスクの初期化をおこなうと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。※USB 機器は再登録も必要となります。

☐ 同意する

☐ 同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

【不具合症状】

発生区分	☐ 地デジ　☐ BS／CS　☐ ハードディスク　☐ USB 機器　☐ BD ディスク　☐ DVD ディスク ☐ その他（　　）
発生頻度	☐ 常時　☐ 時々　☐ その他（　　）
症状	（できるだけくわしく）　例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。
受信環境	☐ 戸建住宅（個別受信）　☐ マンションなど（共同受信）　☐ ケーブルテレビ（社名：　　）
接続機器	☐ テレビ　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　） ☐ レコーダー　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　） ☐ 外付け HDD（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　） ☐ その他　（　　）

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。
（この製品の型番、製造番号は保証書および本機背面などに記載してあります。）

お買い上げ年月日	年　　月　　日	miniB-CAS カード番号※
お買い上げ店名／電話番号	☎	
お買い上げ製品の型番	☐ FE-65U7010　☐ FE-55U7010 （お買い上げいただいた製品の型番の☐にチェックを入れてください。）	
お買い上げ製品の製造番号		

※「miniB-CAS カード情報」画面で確認できる「カード ID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。
EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「miniB-CAS カード情報を確認する」

廃棄時にご注意願います

有機ELテレビは、2018年4月現在、小型家電リサイクル法の対象となっており、家電リサイクル法に基づく廃棄はできません。
今後、法制度が改訂される場合を除き、市区町村、地方自治体の条例や規則に従い廃棄してください。

愛情点検　● 長年ご使用の製品の点検を！（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

➡ **ご使用中止**　このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

困ったときは

おかしいな？と思ったときの調べかた

電源やリモコン以外の項目については、本機に搭載された電子マニュアルをご覧ください。

電源

このようなときは…	ここをお調べください
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。P.30 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.14 • 指定（表示）以外の電源電圧（交流 200V）に電源プラグを挿していませんか。 ➡ 安全のための保護回路が働くため、電源が入らなくなります。 いったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、約 10 分ほど時間をおいてから、指定（表示）の電源電圧（交流 100V）につなぎなおし、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。P.86
	• 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。それでも電源が入らない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。 ➡ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。P.86 • **[電源 LED]**が**[切]**になっていませんか。
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.14 • リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。P.23 • テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P.14 • テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。
テレビの電源を切ると、HDMI ケーブルでつないだレコーダーの電源が切れる。	• **[HDMI 機器連動]**が**[入]**、**[HDMI 機器の自動電源オフ]**が**[入]**になっていませんか。 ➡ **[HDMI 機器の自動電源オフ]**が**[入]**になっている場合は、本機の電源を切ると HDMI-CEC 対応機器の電源も連動して「切」になります。HDMI ケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。P.65
電源を入れると、**[かんたん一括設定]** 開始画面が表示される	• **[かんたん一括設定]**をしていないときは、電源を入れると **[かんたん一括設定]**開始画面が表示されます。P.31
リモコンで電源を切ったあと、しばらくして動作音がした。	• 電源を切ったあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。
電源を切っているときに動作音がした。	• デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください
リモコンで操作できない。	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P.14 • リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。P.23 • テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P.14 • テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 • デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1～12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 ➡チャンネル▲・▼や番組表でチャンネル切換をしてください。
チャンネル▲・▼で、特定のチャンネルだけ選べない。	• スキップされていませんか。 ➡選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する」

有機 EL パネル

このようなときは…	ここをお調べください
画面に赤、青、緑、白、または黒の点が発生する。	• 有機 EL パネル特有の現象により、画面に赤、青、緑、白、または黒の点が発生する場合がありますが、故障ではありません。 • 有機 EL パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99 パーセント以上の有効画素がありますが、0.01 パーセントの画素欠けや常時点灯する点があります。
一定時間が経つと画面が暗くなる。	• 画面全体、または画面の一部が静止した状態が続くと、パネルの焼き付きを軽減するために画面が次第に暗くなります。これはパネルを保護するための機能で、故障ではありません。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。
画面に焼き付きが発生する。	• 有機 EL パネルは材料の特性上、画面に焼き付きが発生する場合があります。長時間同じ映像を表示し続けたり、繰り返し同じ画面を表示したりすると、パネルに焼き付き(残像)が発生することがあります。この症状は故障ではありません。パネルメンテナンスをおこなうと焼き付きを軽減できます。 EM「各種設定」➡「その他の設定をする」➡「パネルメンテナンスを実行する」
画面上に白い水平線が表示される。	• 本機を使い始めてから一定時間が経過すると、画面の焼き付きを軽減するパネルメンテナンス機能を自動的におこないます。 リモコンまたは本機側面の電源ボタンで電源を切ったときに、メッセージが表示されますので、画面の指示に従って開始してください。実行すると画面を消去し、焼き付き低減処理が始まります。実行中は画面に白い水平線が見えることがありますが、故障ではありません。 • パネルメンテナンスは約 70 分で完了し、自動的に電源が「切」になります。 ※リモコンまたは本機側面の電源ボタンを押すと、パネルメンテナンスを中断します。
本機の天面やパネル面、キャビネットの温度が高くなる	• 本機の天面やパネル面、キャビネットの温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)。

次ページへつづく

地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	• UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 ➡地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 • 地上デジタル放送が受信できる UHF アンテナをご使用ですか。 ➡従来のアナログ放送用の UHF アンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用の UHF アンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。P.24
映像や音が出ない、または時々出なくなる。 映像が静止する、または時々静止する。	• UHF アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 ➡**[受信状態の確認]**でアンテナレベルを確認することができます。何らかの要因でアンテナレベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」 • アンテナレベルが低い状態でご覧になっていませんか。 ➡アンテナレベルが低いと、天候や近隣の環境（建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など）の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。

BS･110 度 CS デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください
BS･110 度 CS デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	• BS･110 度 CS アンテナとの接続状態を確かめてください。 • BS･110 度 CS アンテナケーブルを分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用 をおすすめします。 • 分配器を使用している場合は、110 度 CS デジタル対応のものを正しく使用していますか。 • アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工されていますか。 ➡**[受信状態の確認]**でアンテナレベルが「20 以上」になっているか、ご確認ください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS･110 度 CS アンテナを接続したとき」
BS･110 度 CS デジタル放送の映りが悪い。	• アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 • アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 ➡**[受信状態の確認]**でアンテナレベルが「20 以上」になっているか、ご確認ください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS･110 度 CS アンテナを接続したとき」

BS･110 度 CS アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS 放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

	表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
–	miniB-CAS カードを正しく挿入してください。	• miniB-CAS カードが挿入されていません。miniB-CAS カードを正しく挿入してください。miniB-CAS カードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.23
E204	このチャンネルは存在しません。	• チャンネル 3 桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。P.18
–	地上デジタル放送を受信するためには **[メニュー]** ➡ **[設定]** ➡ **[かんたん一括設定]**でチャンネルスキャンをおこなってください。	• 地上デジタル放送を受信するために、**[設定]**で、**[かんたん一括設定]**をおこなってください。P.76
E202	放送を受信できません。	• 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、**[詳細を確認する]**を選択し**[アンテナの設定をおこなう]**もしくは**[チャンネルスキャンをおこなう]**をおこなってください。 • BS／CS 放送が受信できなくなった場合は、**[詳細を確認する]**を選択し**[アンテナ設定をおこなう]**もしくは**[アンテナ電源設定を確認する]**をおこなってください。 EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」
–	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。	• 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。 EM「さまざまな情報」➡「用語の説明」➡「降雨対応放送」
–	この番組をご覧いただくには、契約・登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか？	• 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。P.98
–	このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。	• データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。
–	この miniB-CAS カードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	• 使用できないカードが挿入されています。miniB-CAS カードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.23
–	この miniB-CAS カードは使用できません。正しい miniB-CAS カードを挿入してください。	• カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CAS カードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。P.23
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	• 選局したチャンネルが非放送番組です。
–	このチャンネルは現在放送されていません。	• 選局したチャンネルが放送休止中です。
E210	この受信機では、このチャンネルは選局できません。	• 本機では選局できないチャンネルです。
–	データ放送を受信できません。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	• データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。
–	データの表示ができませんでした。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	• データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。

次ページへつづく

テレビ画面に表示されるメッセージ（つづき）

操作全般

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
⃠	• 現在、その操作をおこなうことは禁止されています。
ダビング中にこの操作はできません。	• 現在ダビング中のため、その操作をおこなうことは禁止されています。 EM「さまざまな情報」➡「同時にできること」➡「ダビングしているときの再生と予約録画について」
まもなく、USB-HDD への予約録画を開始します。USB-HDD へ録画できない場合は、録画先を HDD に変更します。	• 録画可能な USB-HDD または SeeQVault-HDD が接続されていません。P.68
	• 同時操作によって USB-HDD または SeeQVault-HDD に録画できません。 ➡HDD に空き容量がある場合は、代理録画されます。 EM「さまざまな情報」➡「同時にできること」➡「録画中の再生について」

メール

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
ホームメニューの**[設定]**からメールを確認してください。	• 新着のお知らせメールがあります。 ➡**[設定]**➡**[お知らせメール]**からメールの内容を確認してください。 EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「お知らせメールについて」

USB

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
USB-HDD を確認してください。 通常録画用として登録している USB-HDD が接続されていません。 または、本機で記録できない USB-HDD が接続されています。	• USB-HDD を認識できません。もしくは認識できない USB-HDD が接続されています。USB-HDD を確認してください。P.66
	• 本機で登録できる USB-HDD の容量は、32GB～6TB になります。
	• 登録設定した USB-HDD が、USB 1 通常録画（HDD 用）端子に接続されていない可能性があります。接続を確認してください。P.68

録画

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
録画、またはダビングが禁止された番組です。	• 「録画禁止」番組を録画しようとしています。（「録画禁止」番組は録画できません。）P.43
録画容量不足により、録画を中止しました。	• HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD の残量がなくなったため、録画を中断しました。
録画時間が 15 時間をこえたため、録画を停止しました。	• HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD への連続録画時間が 15 時間になったため、録画を停止しました。
	• HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD への 1 番組あたりの連続録画可能時間は最大 15 時間です。

予約

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
HDD の録画容量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合は、最後まで録画できません。	• HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD の残量が不足しています。 ➡ 決定を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。P.61
予約登録数がいっぱいのため予約登録できません。	• 予約登録数が上限の 200 に達したので、不要な予約を消去してください。P.56
番組情報が変更されました。	• 予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。

消去･編集･ダビング

表示されるメッセージ　（例）	メッセージの意味と対応のしかた
この番組は保護されているため、ダビングできません。	• 「移動」になる番組が保護されているときは、ダビングができません。 ➡ 番組の保護を解除してください。 EM「消去する／編集する」➡「番組名を変更する･番組を保護する」➡「番組を保護する」
この番組はすでに登録しているため、選択できません。	• 「移動」になる番組、またはダビング 10 番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。
最大登録数をこえるため、選択できません。	• ダビングリストの登録番組数がいっぱいになっています。 EM「ダビングする」➡「複数の番組をまとめてダビングする」➡「ダビングリストから番組を消去する」 • ダビングリストに登録できる番組数は最大 36 番組です。
15 時間をこえる番組はダビングできません。	• ダビング先が HDD／USB-HDD／SeeQVault-HDD のときに、15 時間をこえる番組は、ダビングできません。
番組数が上限をこえています。 ダビングする番組を減らしてください。	• ダビング先の番組総数が、限界をこえます。 ➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。 EM「ダビングする」➡「複数の番組をまとめてダビングする」➡「ダビングリストから番組を消去する」

無線 LAN を使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線 LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線 LAN 設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線 LAN が使用する周波数帯は 2.4GHz 帯と 5GHz 帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機に内蔵の無線 LAN をお使いになる場合は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線 LAN が使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線 LAN を使用する場合は、以下をお読みください。

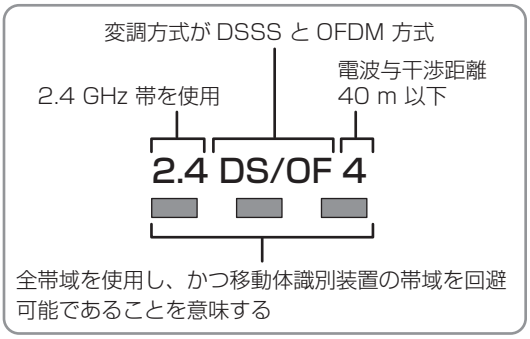
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線 LAN の使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

連絡先：船井電機　お客様ご相談窓口

0120-055-271

※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

- 5GHz 帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz 帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線 LAN を使用する場合は、5GHz 帯を使用せずに 2.4GHz 帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



- 本機の無線 LAN は、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線 LAN アクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b／g／n

IEEE802.11a／n／ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE802.11 b／g／n		1 ～ 13	2.412 ～ 2.472GHz
IEEE802.11 a／n／ac	W52	36,40,44,48	5.18 ～ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ～ 5.32GHz
	W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140	5.50 ～ 5.70GHz

※本機は従来の無線規格である J52 には対応していません。

- 無線 LAN の性能や環境条件による影響など。
  - 無線 LAN のデータ転送速度は、通信距離･障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機は IEEE802.11a／b／g／n／ac の規格に準拠していますが、すべての無線 LAN 機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 2.4GHz 帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線 LAN の通信が途切れることがあります。
  - 2.4GHz 帯の無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、無線 LAN 通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USB ハブおよび USB ケーブルは本機に内蔵の無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して配置してください。
  - 5GHz 帯に対応した無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz 帯でのご使用をおすすめします。

無線 LAN 製品ご使用における セキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容から ID や暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線 LAN 製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをおすすめします。

▷ 本機は日本国内専用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
  This unit is designed for use in Japan only.

▷ 取り扱いに関すること

- 非常時をのぞいて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**[クイック起動]**を**[切]**に設定して、本機の電源を切ってから抜くことをおすすめします。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

▷ 使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。

▷ 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が転倒や落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

著作権などについて

▷ 商標・登録商標について

- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  G ガイドは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国 TiVo Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- 本製品に搭載されている「UD 新ゴ R」、「UD 新丸ゴ R」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront、NetFront ロゴは日本国、米国およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
  © 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Dolby Vision およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

DOLBY VISION™

- Sonic Emotion and sonic emotion are registered trademarks of sonic emotion ag.
- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.

SeeQVault™

- Netflix は、Netflix, Inc.の登録商標です。

NETFLIX

- YouTube™および YouTube ロゴ、Android は Google Inc. の商標または登録商標です。
  YouTube and the YouTube logo, Android are trademarks of Google Inc.

YouTube

- 「dTV」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。

dTV

- 「U-NEXT」と U-NEXT ロゴは株式会社 U-NEXT の商標または登録商標です。

U-NEXT

- スカパー！および「スカパー！プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパー JSAT 株式会社の商標です。

スカパー！ プレミアムサービス Link 録画 ダビング

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

▷ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeType を使用しています。

Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

- 本製品は、OpenSSL を使用しています。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

- 本製品は、ntpdate を使用しています。

Copyright (C) University of Delaware 1992-2009 Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2 を使用しています。

libxml2 is free software available under the MIT License.

The MIT License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/ or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Player を搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License（以下、GPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれた GPL ソフトウェアおよび LGPL ソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、ホーム ➡ **[設定]** ➡ **[機能設定]** ➡ **[その他の設定]** ➡ **[本機の情報と更新]** ➡ **[ライセンス情報]**でご確認いただけます。

組み込まれた GPL および LGPL のオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

〒 574-0013

大阪府大東市中垣内 7 丁目 7 番 1 号

船井電機株式会社

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

デジタル放送について

本機は、地上･BS･110 度 CS デジタルチューナーを搭載しています。
UHF アンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS･110 度 CS 対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のホームページ http://www.apab.or.jp/をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。現在お使いの UHF アンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV（ケーブルテレビ）で受信することもできます。
  お住まいの地域の CATV で地上デジタル放送が開始されているかは、CATV 放送会社にお問い合わせください。CATV 放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF 帯、MID 帯、SHB 帯、UHF 帯）に対応する「CATV パススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS 日テレ、BS 朝日、BS-TBS、BS ジャパン、BS フジなどは無料放送をおこなっています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター

TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00 ～20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

■「スター･チャンネル」カスタマーセンター

TEL：0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間　10：00 ～18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送と同じ東経 110 度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110 度 CS デジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。
  110 度 CS デジタル放送には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機では CS1 と CS2 が CS にまとめられています。

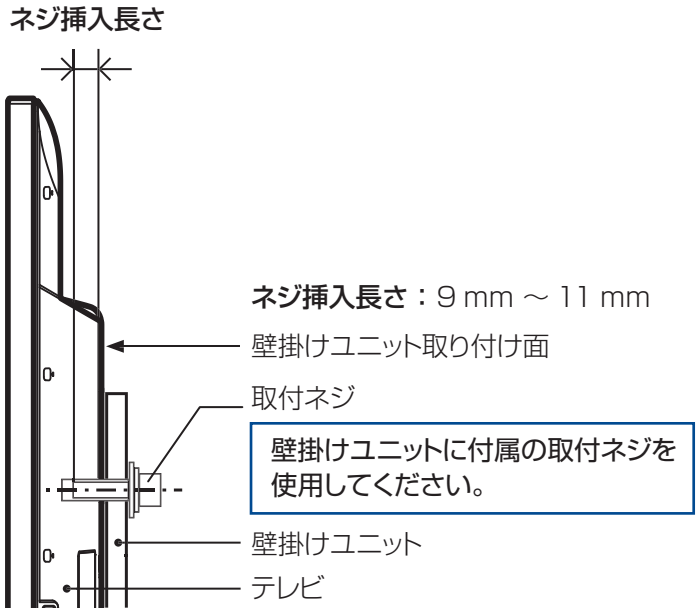
■「スカパー！」カスタマーセンター（総合窓口）

TEL：フリーダイヤル　0120-039-888
受付時間　10：00 ～20：00（年中無休）
https://www.skyperfectv.co.jp

壁掛けユニット取り付け時について

壁掛けユニット（市販品）取り付け時の注意

- 壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全ですと、けがの原因になります。
- 壁掛けユニット（市販品）を取り付ける際は、壁掛けユニットに付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛けユニットに付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛けユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前にご確認ください。



取り付け部断面図の一例

注意

ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。壁掛けユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

※本機に対応する壁掛けユニットについては、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、**お買い上げの販売店へ** お問い合わせいただくか、

船井電機 お客様サポートサイト funai.jp/cs/

をご覧ください。製品の取り扱いに関するお役立ち情報が満載です。

● 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

フリーコール **0120-055-271**（通話料無料）

受付時間　9：00～18：00
（年末年始を除く）

※時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方は、こちらまで　FAX: 06-6746-3374

オンラインショッピングのご案内

リモコンなどの付属品をご購入いただけます。
お気軽にご利用ください。

船井サービス　ONLINE SHOP

http://www.funai-service.co.jp/shop/

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2018年10月現在）

FUNAI

船井電機株式会社

PB280JJ-65UL
PB2R0JJ-55UL
★★